

# 一宮市 在宅介護アンケート

～第9期一宮市高齢者福祉計画の策定に向けて～

**【調査結果報告書】**

令和5年3月

一宮市



## 目次

1	調査の概要.....	1
	ア. 調査の目的 .....	1
	イ. 調査概要.....	1
	ウ. 報告書の見方 .....	1
2	調査結果 .....	2
	ア. あなたとご家族について.....	2
	イ. 訪問診療について .....	7
	ウ. 介護保険サービスについて .....	8
	エ. 高齢者支援に関することについて.....	14
	オ. 防災について.....	18
	カ. ふだんの生活について.....	21
	キ. 今後の暮らしについて.....	27
	ク. 介護について .....	31

# 1 調査の概要

## ア. 調査の目的

本調査は、「第9期一宮市高齢者福祉計画（介護保険事業計画を含む）」を策定するにあたり、在宅で生活をしていて要支援・要介護認定を受けている皆さん方の介護保険サービスにかかる利用状況や利用意向、また介護者の方の実態を把握し、計画づくりや施策の立案に活用することを目的として実施しました。

## イ. 調査概要

調査対象者：在宅で生活している要支援・要介護認定を受けている市民 800 人

抽出方法：無作為抽出

調査方法：郵送配布、郵送回収・Web 回答

調査期間：令和5年1月6日（金）～令和5年1月24日（火）

回収率：57.1%（回収数：457件）

## ウ. 報告書の見方

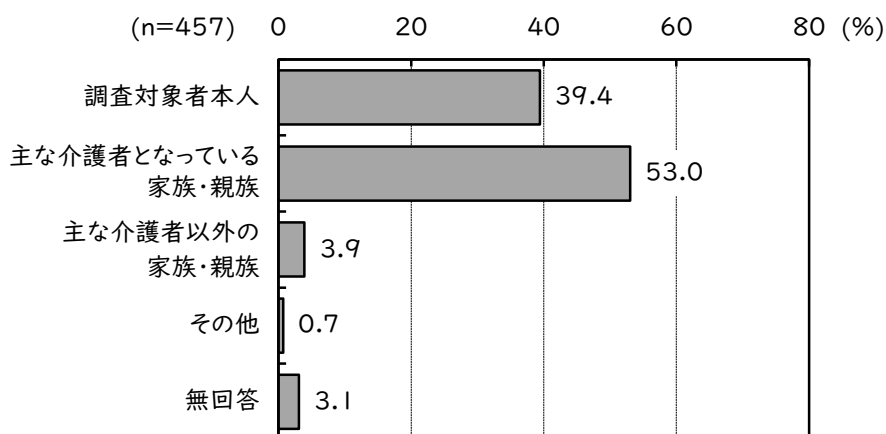
- 図表中の「n (number of case)」は、集計対象者総数（あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人）を表しています。
- 回答結果の割合「%」は有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が100.0%にならない場合があります。
- 複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。複数回答のグラフ表記については以下のとおりです。
  - MA% (Multiple Answer) : 選択肢から当てはまるものすべてを回答する場合
  - 3LA% (Limited Answer) : 選択肢から当てはまるものを3つまで回答する場合
- 図表中の「無回答」とは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。
- 図表中における設問の選択肢については簡略化している場合があります。
- 本文中における「圏域」とは日常生活圏域を指し、区分けは以下のとおりです。
  - 中・西地区 : 宮西・神山・今伊勢町・奥町連区
  - 北地区 : 葉栗・北方町・木曾川町連区
  - 北・東地区 : 貴船・西成・浅井町連区
  - 南・東地区 : 大志・向山・富士・丹陽町・千秋町連区
  - 南地区 : 大和町・萩原町連区
  - 南・西地区 : 起・小信中島・三条・大徳・朝日・開明連区
- 圏域別の集計表の網掛けについては以下の通りです（無回答、わからないを除いた順）。  
《最も割合の高いもの》網掛けと太文字 《2番目に割合が高いもの》網掛け

## 2 調査結果

### ア. あなたとご家族について

問1. 現在、この調査票にご回答いただいているのは、どなたですか。(○は1つだけ)

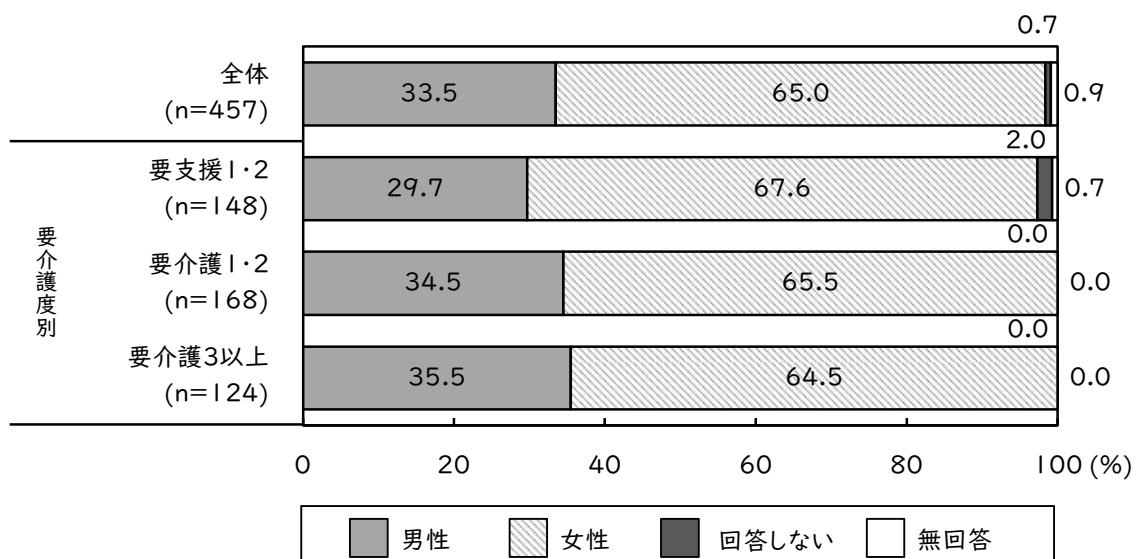
「主な介護者となっている家族・親族」が53.0%と最も高く、次いで、「調査対象者本人」が39.4%となっています。



問2. あなたの性別はどちらですか。(○は1つだけ)

《全体》では、「男性」が33.5%、「女性」が65.0%となっています。

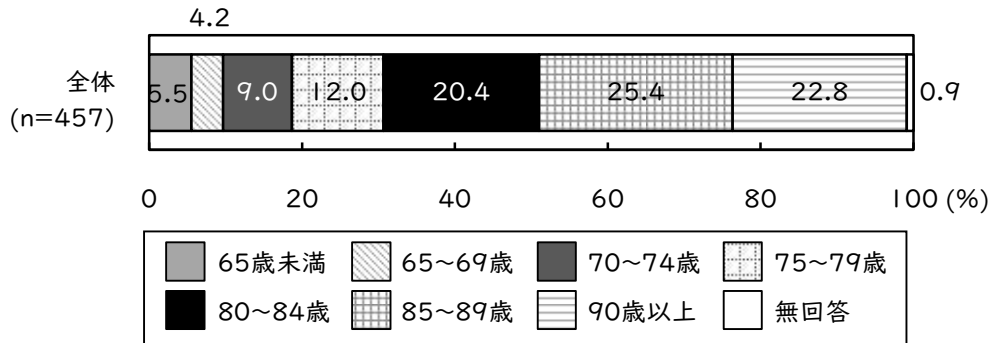
要介護度別で見ると、どの区分も「女性」の方が高くなっています。



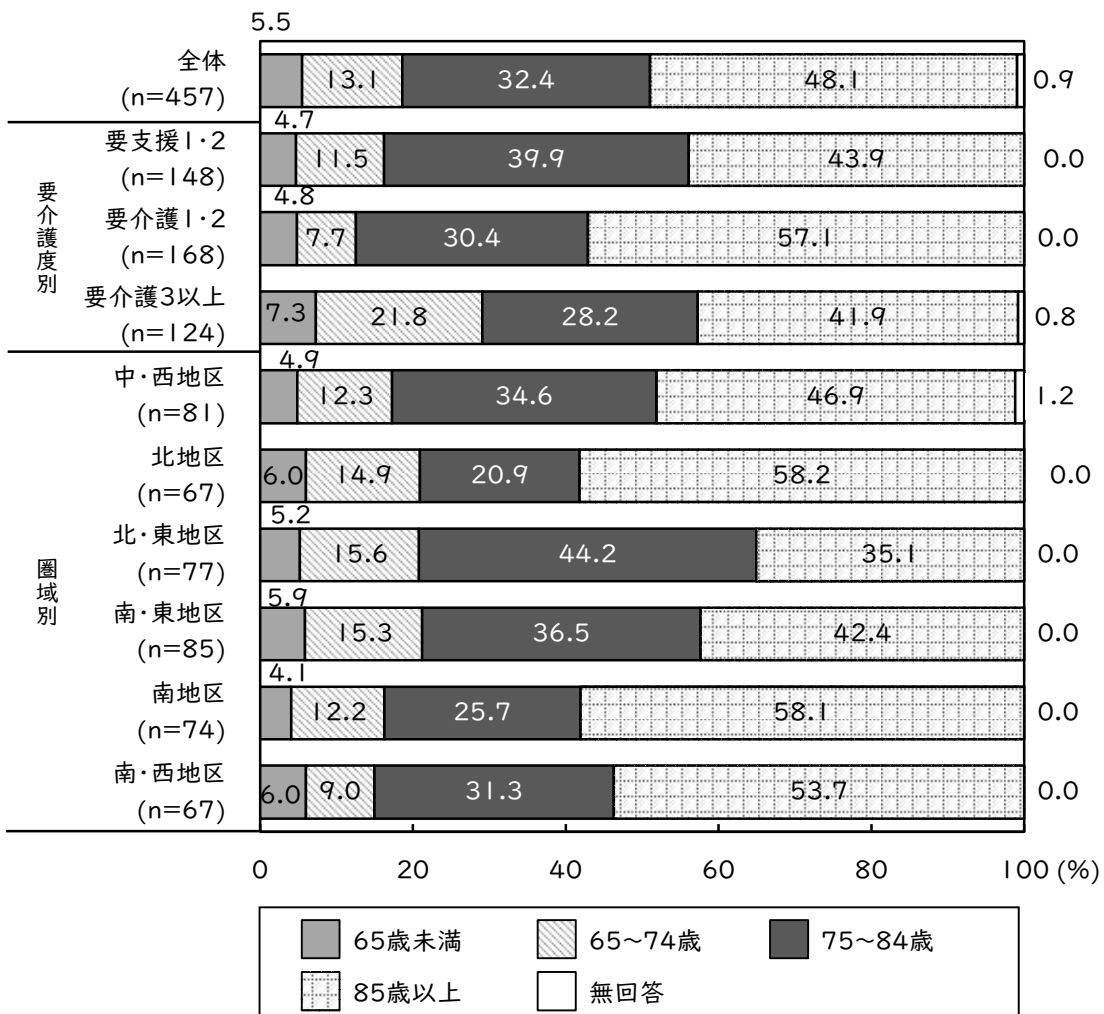
問3. あなたの年齢は、おいくつですか。(○は1つだけ)

《全体》では、「85～89歳」が25.4%と最も高く、次いで、「90歳以上」が22.8%、「80～84歳」が20.4%となっています。

年齢を4区分で見ると、「85歳以上」が48.1%と最も高く、次いで、「75～84歳」が32.4%、「65～74歳」が13.1%となっています。要介護度別で見ると、どの区分も「85歳以上」が最も高くなっています。圏域別で見ると、ほとんどの地区で「85歳以上」が最も高くなっていますが、《北・東地区》では「75～84歳」が最も高くなっています。



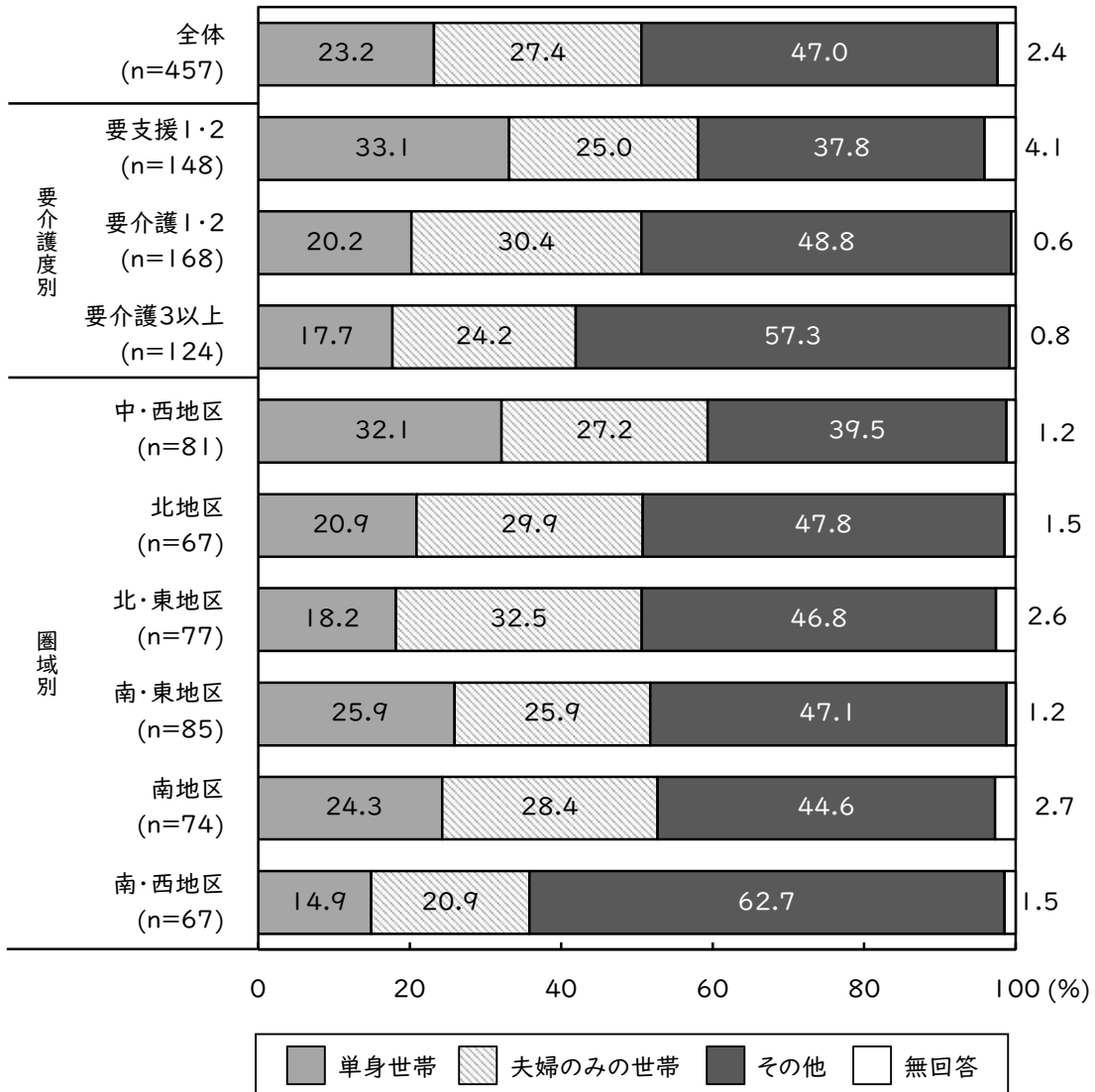
【年齢4区分別】



問4. あなたの世帯は次のどれですか。(○は1つだけ)

《全体》では、「単身世帯」が23.2%、「夫婦のみの世帯」が27.4%、「その他」が47.0%となっています。

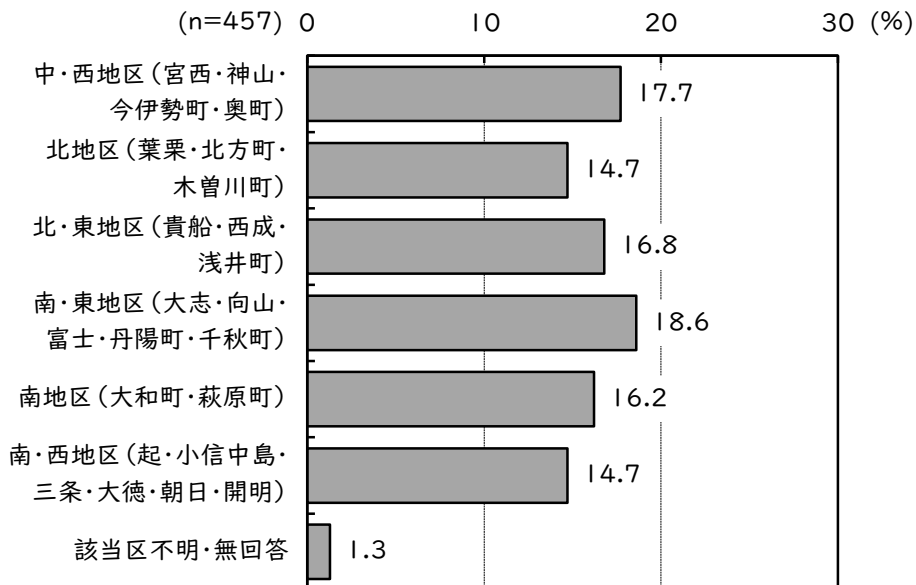
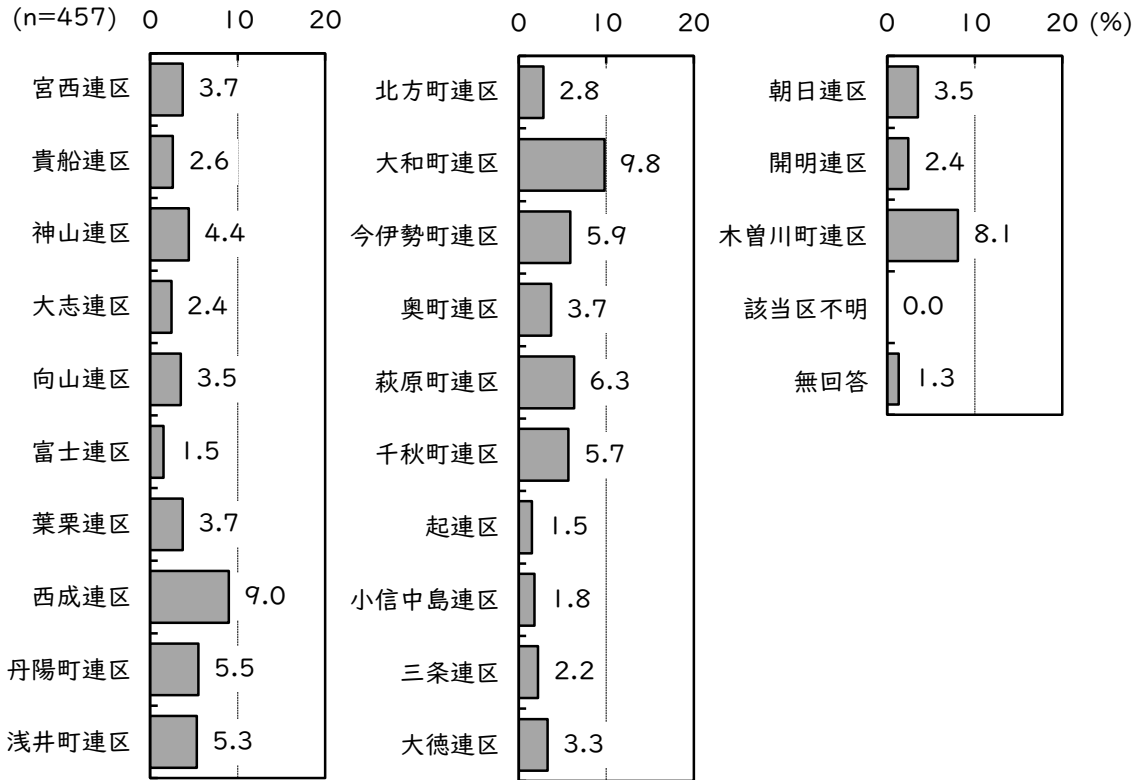
要介護度別でみると、「単身世帯」の割合は介護度が上がるほど低くなり、《要介護度3以上》では17.7%となっています。圏域別でみると、「単身世帯」の割合は《中・西地区》で最も高く、32.1%となっています。



問5. あなたは、どちらにお住まいですか。(○は1つだけ)

連区でみると、「大和町連区」が9.8%と最も高く、次いで、「西成連区」が9.0%、「木曽川町連区」が8.1%となっています。

圏域でみると、「南・東地区（大志・向山・富士・丹陽町・千秋町）」が最も高く、18.6%となっています。

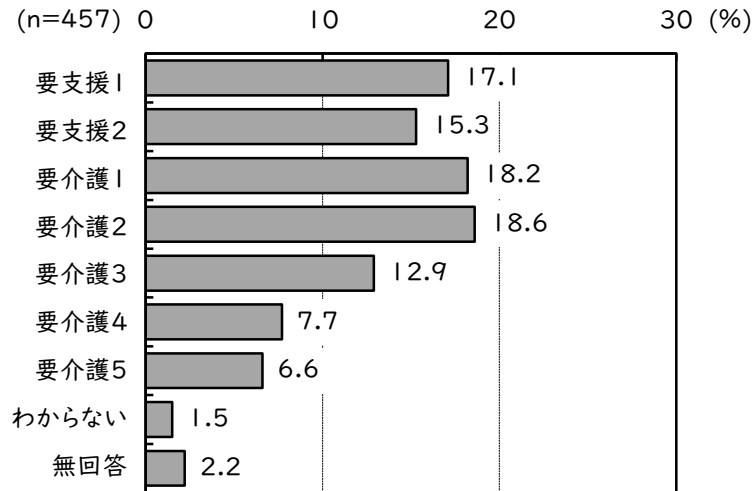


※割合は実数から計算しているため、連区の割合の合計と地区の割合は一致しない。



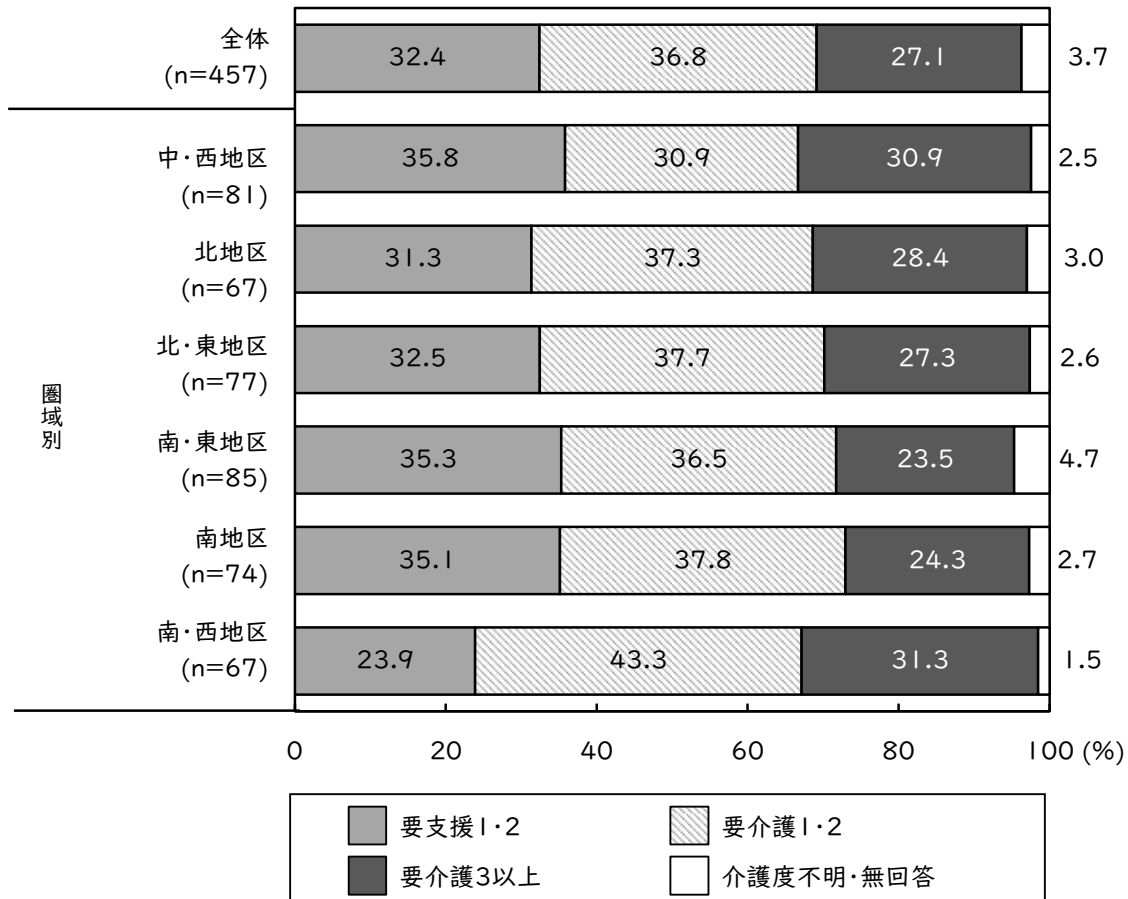
問6. あなたの要介護度は、次のどれに該当しますか。(○は1つだけ)

「要介護2」が18.6%と最も高く、次いで、「要介護1」が18.2%、「要支援1」が17.1%となっています。



要介護度を3区分で見ると、「要支援1・2」が32.4%、「要介護1・2」が36.8%、「要介護3以上」が27.1%となっています

圏域別で見ると、「要介護3以上」の割合は《南・西地区》で最も高く、31.3%となっています。また、《中・西地区》での割合も高く、3割台となっています(30.9%)。



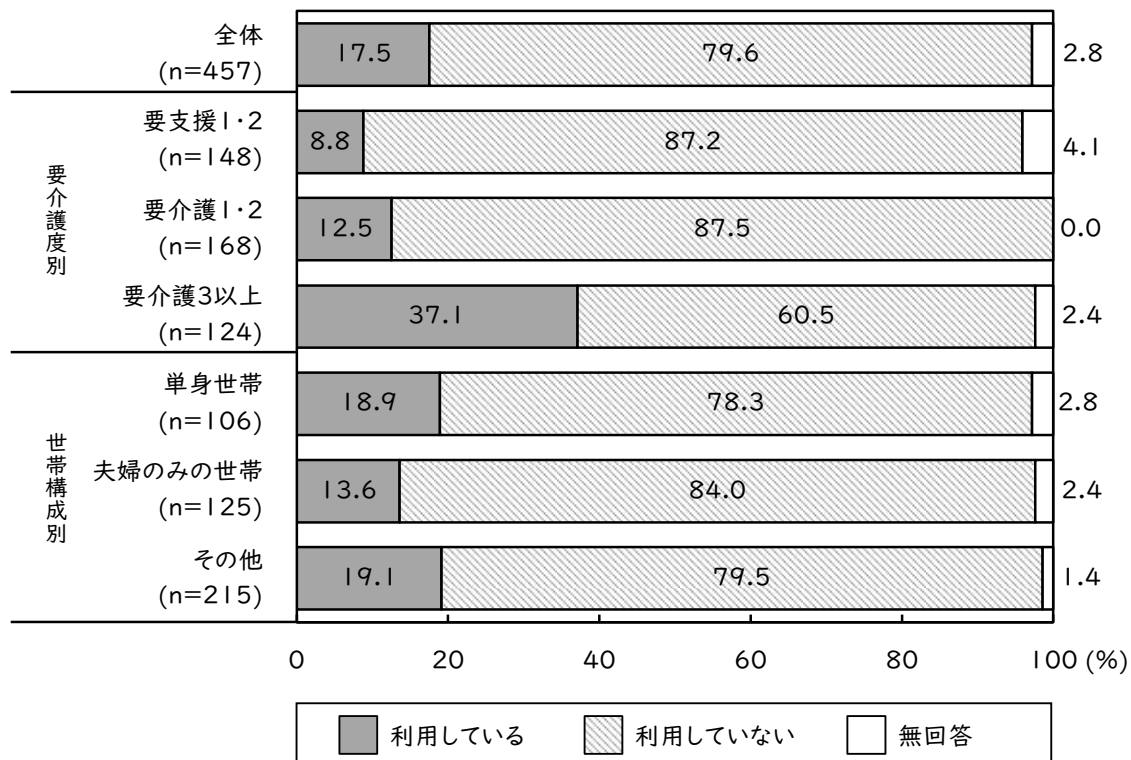
## イ. 訪問診療について

問7. 訪問診療（医師の訪問）を利用していますか。（○は1つだけ）

《全体》では、「利用している」が17.5%、「利用していない」が79.6%となっています。

要介護度別でみると、「利用している」の割合は要介護度が上がるほど高くなり、《要支援1・2》では8.8%、《要介護1・2》では12.5%、《要介護3以上》では37.1%と、特に《要介護1・2》から《要介護3以上》にかけての増加が大きくなっています。

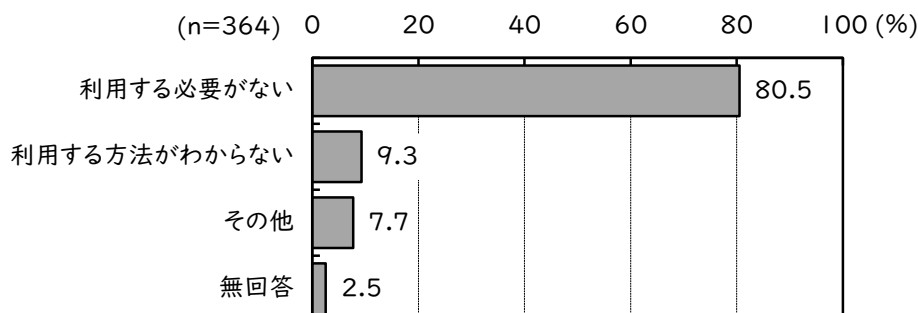
世帯構成別でみると、「利用している」の割合はどの区分も1割台となっていますが、《夫婦のみの世帯》に比べると、《単身世帯》、《その他》での割合は高い傾向にあります（単身世帯：18.9%、夫婦のみの世帯：13.6%、その他：19.1%）。



〈訪問診療を利用していない方のみ〉

問8. 訪問診療を利用していない理由は何ですか。（○は1つだけ）

「利用する必要がない」が80.5%、「利用する方法がわからない」が9.3%となっています。

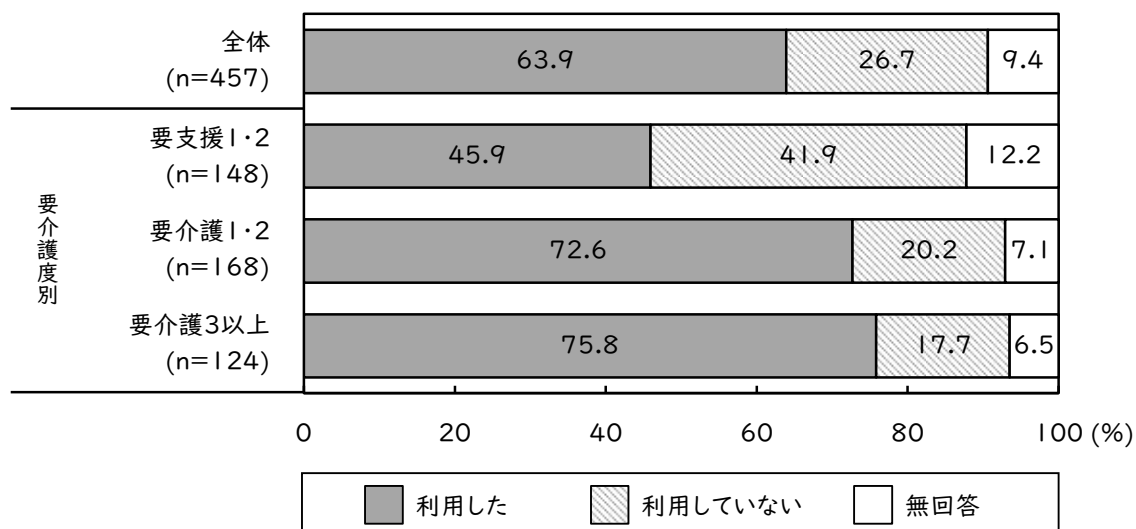


## ウ. 介護保険サービスについて

問9. 令和4年12月の1か月の間に、(住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の) 介護保険サービスを利用しましたか。(○は1つだけ)

《全体》では、「利用した」が63.9%、「利用していない」が26.7%となっています。

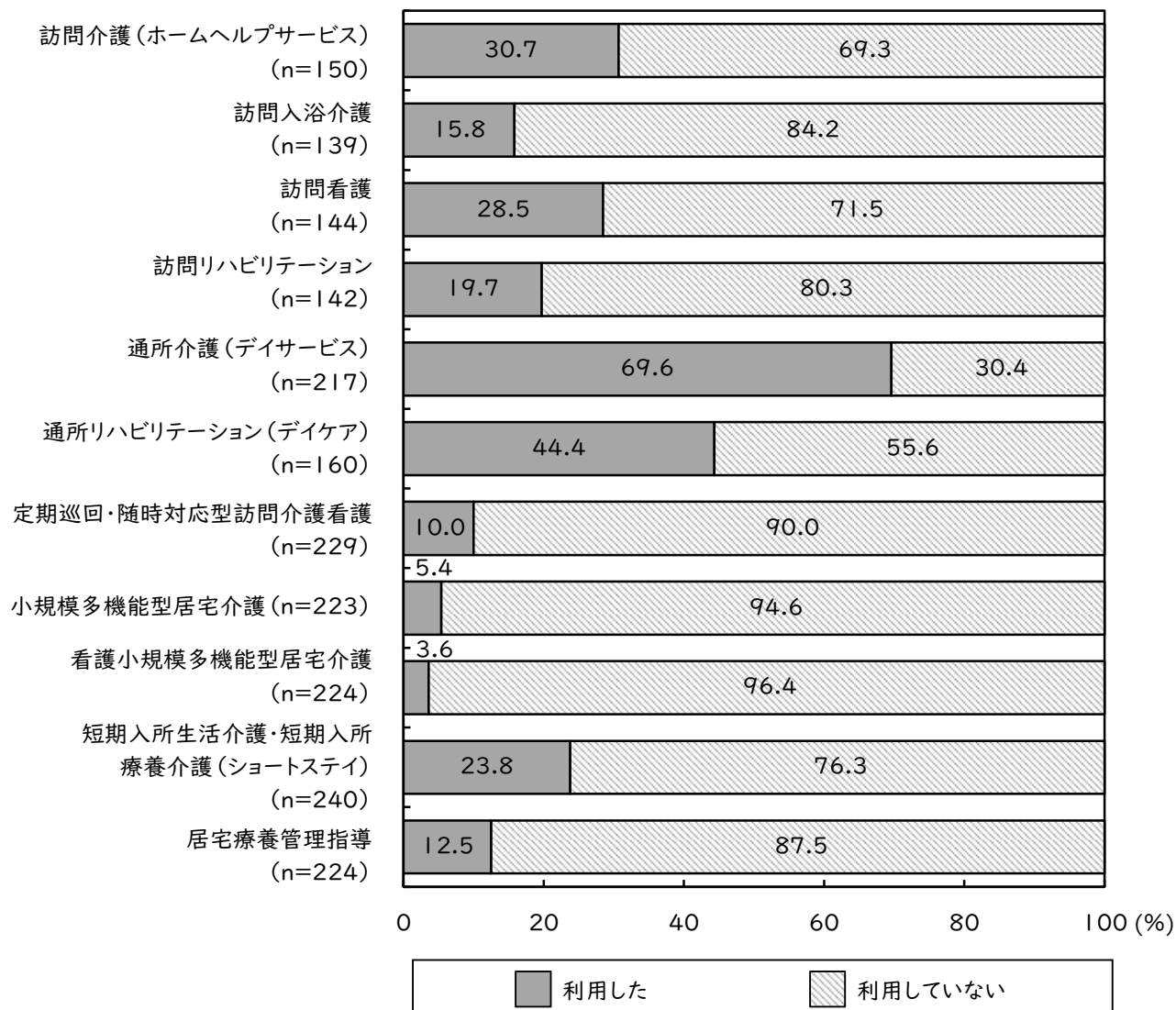
要介護度別でみると、「利用した」の割合は要介護度が上がるほど高くなり、《要支援1・2》では45.9%、《要介護1・2》では72.6%、《要介護3以上》では75.8%と、特に《要支援1・2》から《要介護1・2》にかけての増加が大きくなっています。



〈介護サービスを利用した方のみ〉

問 10. 介護サービスについて、令和4年12月の1か月間の利用状況をお答えください。(○は1つだけ)

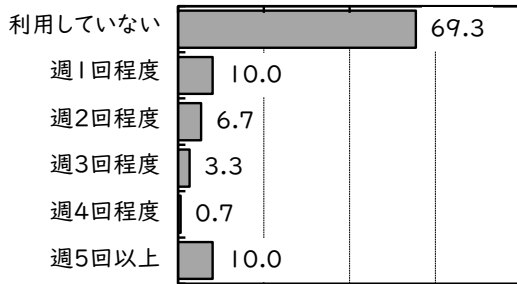
「利用した」の割合は、《通所介護（デイサービス）》で最も高く、69.6%となっています。次いで割合が高いものを見ると、《通所リハビリテーション（デイケア）》が44.4%、《訪問介護（ホームヘルプサービス）》が30.7%、《訪問看護》が28.5%、《短期入所生活介護・短期入所療養介護（ショートステイ）》が23.8%となっています。それ以外の割合は2割未満となっています。



※無回答を除いた割合。

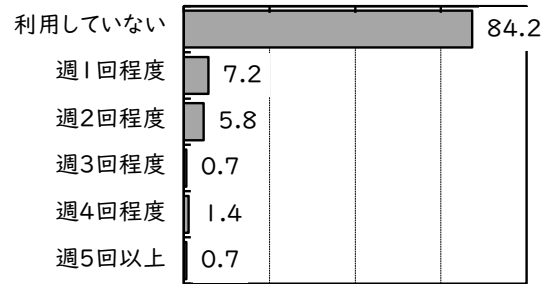
■訪問介護（ホームヘルプサービス）

(n=150) 0 25 50 75 100(%)



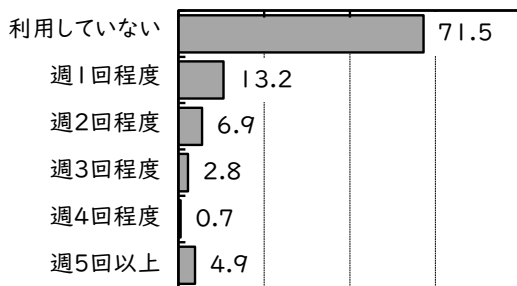
■訪問入浴介護

(n=139) 0 25 50 75 100(%)



■訪問看護

(n=144) 0 25 50 75 100(%)



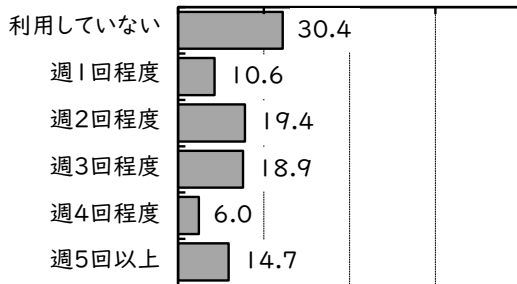
■訪問リハビリテーション

(n=142) 0 25 50 75 100(%)



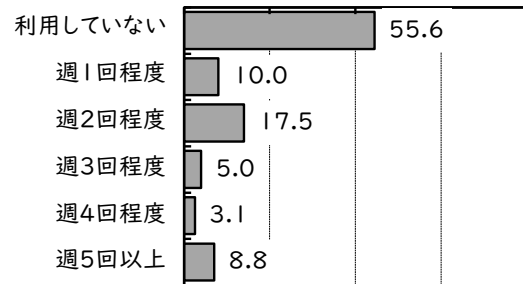
■通所介護（デイサービス）

(n=217) 0 25 50 75 100(%)



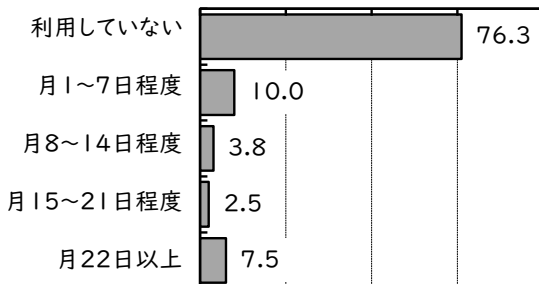
■通所リハビリテーション（デイケア）

(n=160) 0 25 50 75 100(%)



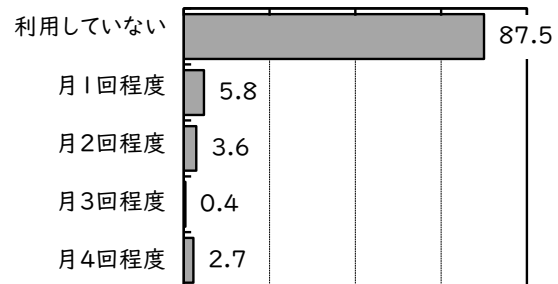
■短期入所生活介護・短期入所療養介護  
（ショートステイ）

(n=240) 0 25 50 75 100(%)



■居宅療養管理指導

(n=224) 0 25 50 75 100(%)



※無回答を除いた割合。

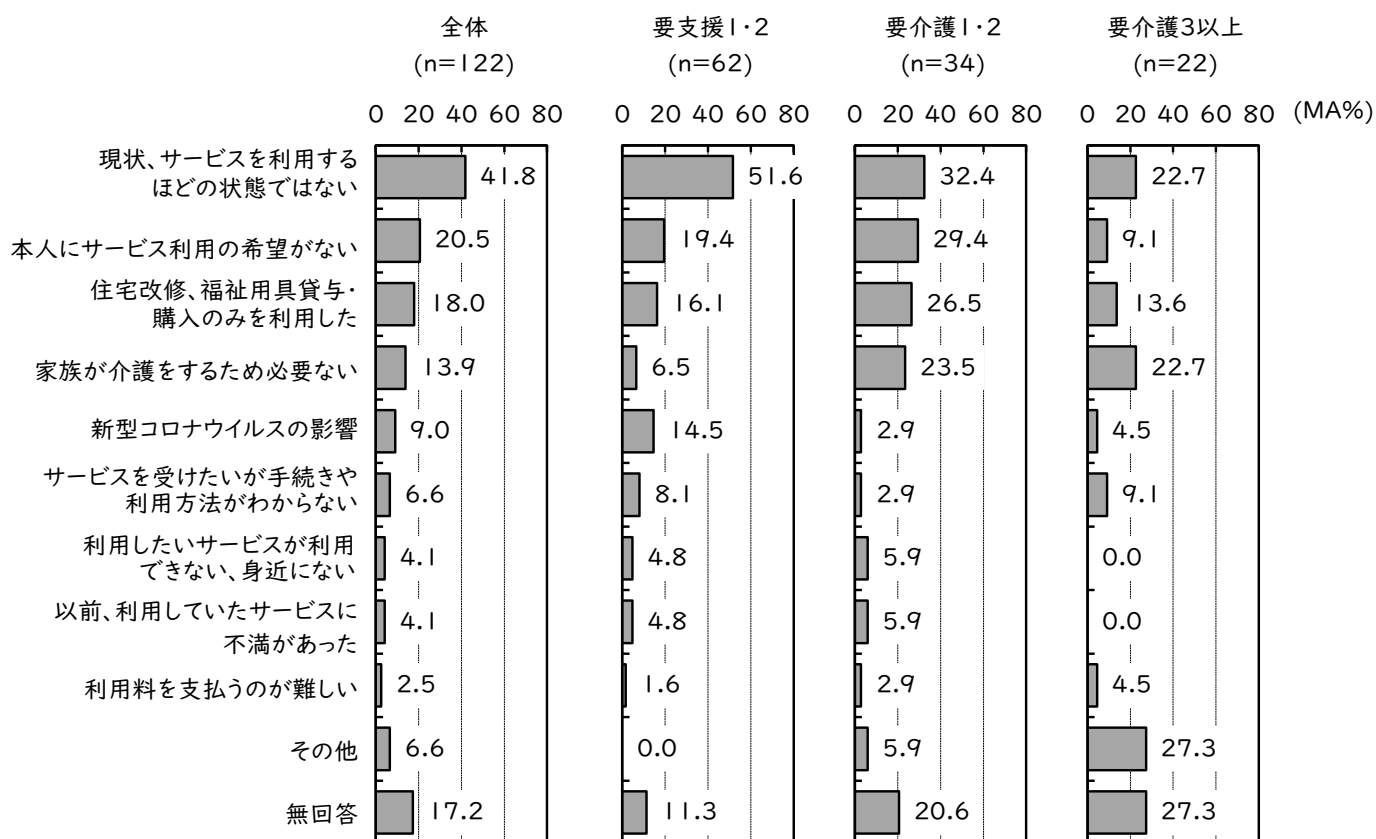
〈介護サービスを利用していない方のみ〉

問 11. 介護保険サービスを利用していない理由は何ですか。(○はいくつでも)

《全体》では、「現状、サービスを利用するほどの状態ではない」が 41.8%と最も高く、次いで、「本人にサービス利用の希望がない」が 20.5%、「住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用した」が 18.0%となっています。

要介護度別でみると、どの区分も「現状、サービスを利用するほどの状態ではない」が最も高くなっていますが、《要支援 1・2》では 51.6%、《要介護 1・2》では 32.4%、《要介護 3 以上》では 22.7%と、要介護度が上がるほど割合が低くなっています。《要介護 3 以上》では「家族が介護をするため必要ない」も同率で最も高く、《要介護 1・2》では「本人にサービス利用の希望がない」、「住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用した」の割合も比較的高く、2 割台後半となっています（順に 29.4%、26.5%）。

【要介護度別】

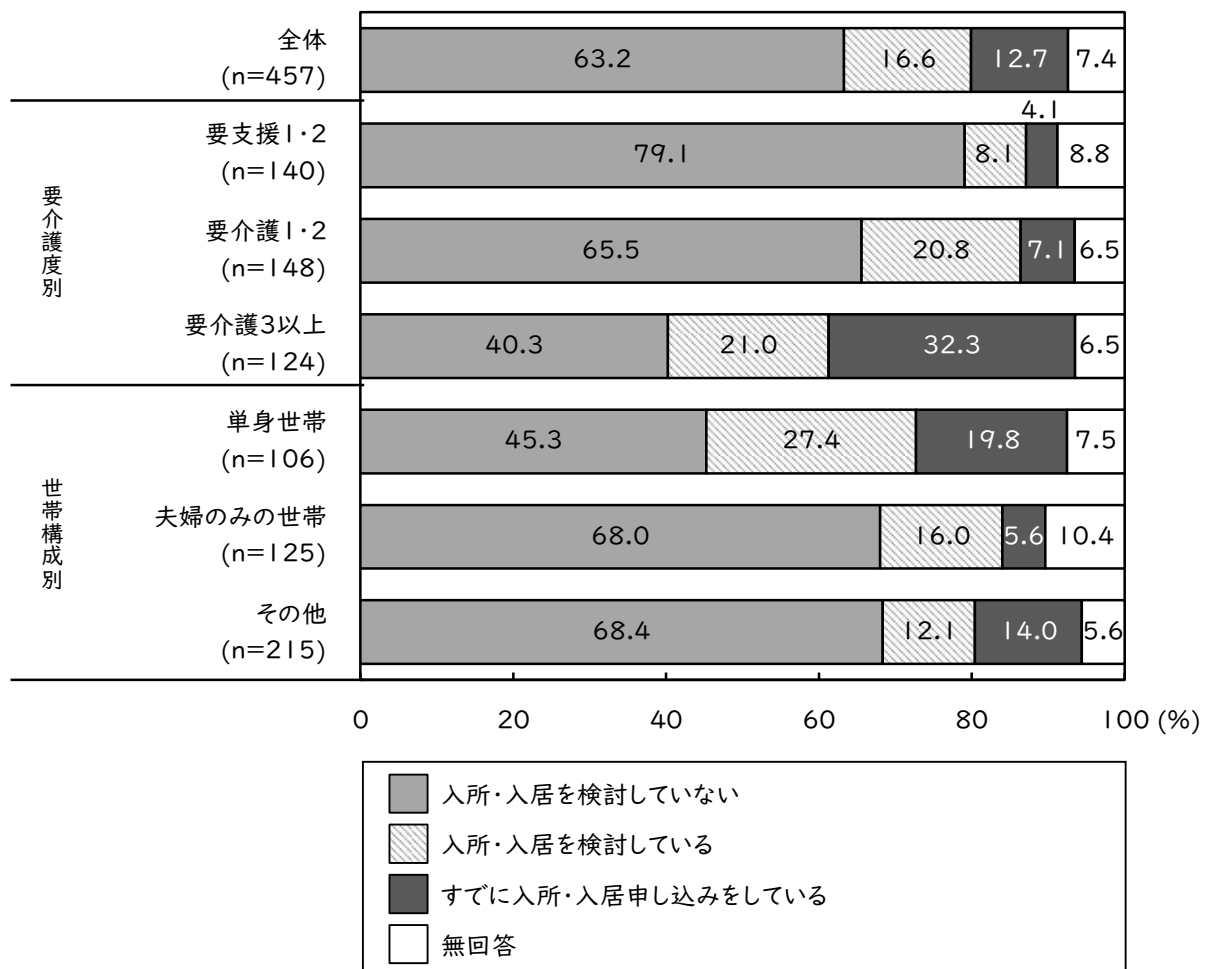


問 12. 現時点での、施設など（特別養護老人ホーム、老人保健施設、介護医療院、グループホーム、介護付有料老人ホームなど）への入所・入居の検討状況についてお聞きます。（○は1つだけ）

《全体》では、「入所・入居を検討していない」が 63.2%、「入所・入居を検討している」が 16.6%、「すでに入所・入居申し込みをしている」が 12.7%となっています。

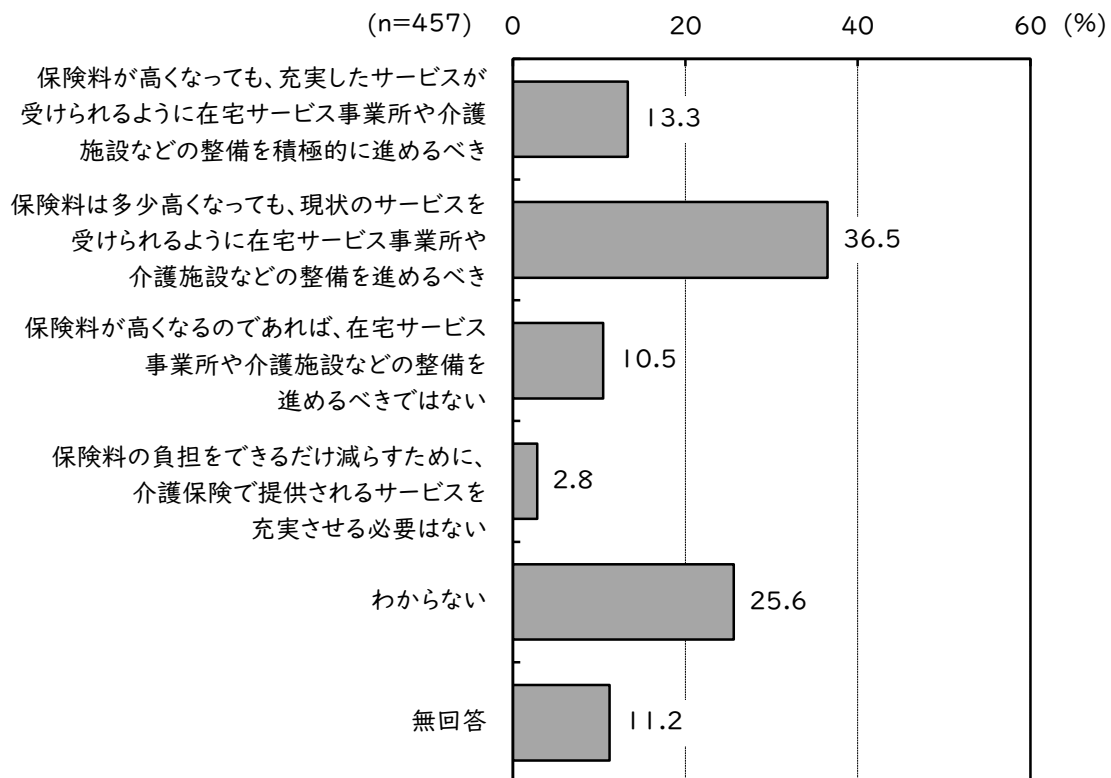
要介護度別でみると、「入所・入居を検討している」の割合は要介護度が上がるほど高くなり、《要支援1・2》では 8.1%、《要介護1・2》では 20.8%、《要介護3以上》では 21.0%と、特に《要支援1・2》から《要介護1・2》にかけての増加が大きくなっています。「すでに入所・入居申し込みをしている」の割合についても要介護度が上がるほど高くなり、《要介護3以上》では 32.3%となっています。

世帯構成別でみると、「入所・入居を検討している」、「すでに入所・入居申し込みをしている」の割合は、《単身世帯》で最も高くなっています。



問 13. 今後の介護保険サービスと介護保険料負担のあり方について、あなたの考え方に最も近いのはどれですか。  
 (○は1つだけ)

《全体》では、「わからない」を除くと、「保険料は多少高くなっても、現状のサービスを受けられるように在宅サービス事業所や介護施設などの整備を進めるべき」が 36.5%と最も高く、次いで、「保険料が高くなっても、充実したサービスを受けられるように在宅サービス事業所や介護施設などの整備を積極的に進めるべき」が 13.3%、「保険料が高くなるのであれば、在宅サービス事業所や介護施設などの整備を進めるべきではない」が 10.5%となっています。「わからない」については 25.6%となっています。





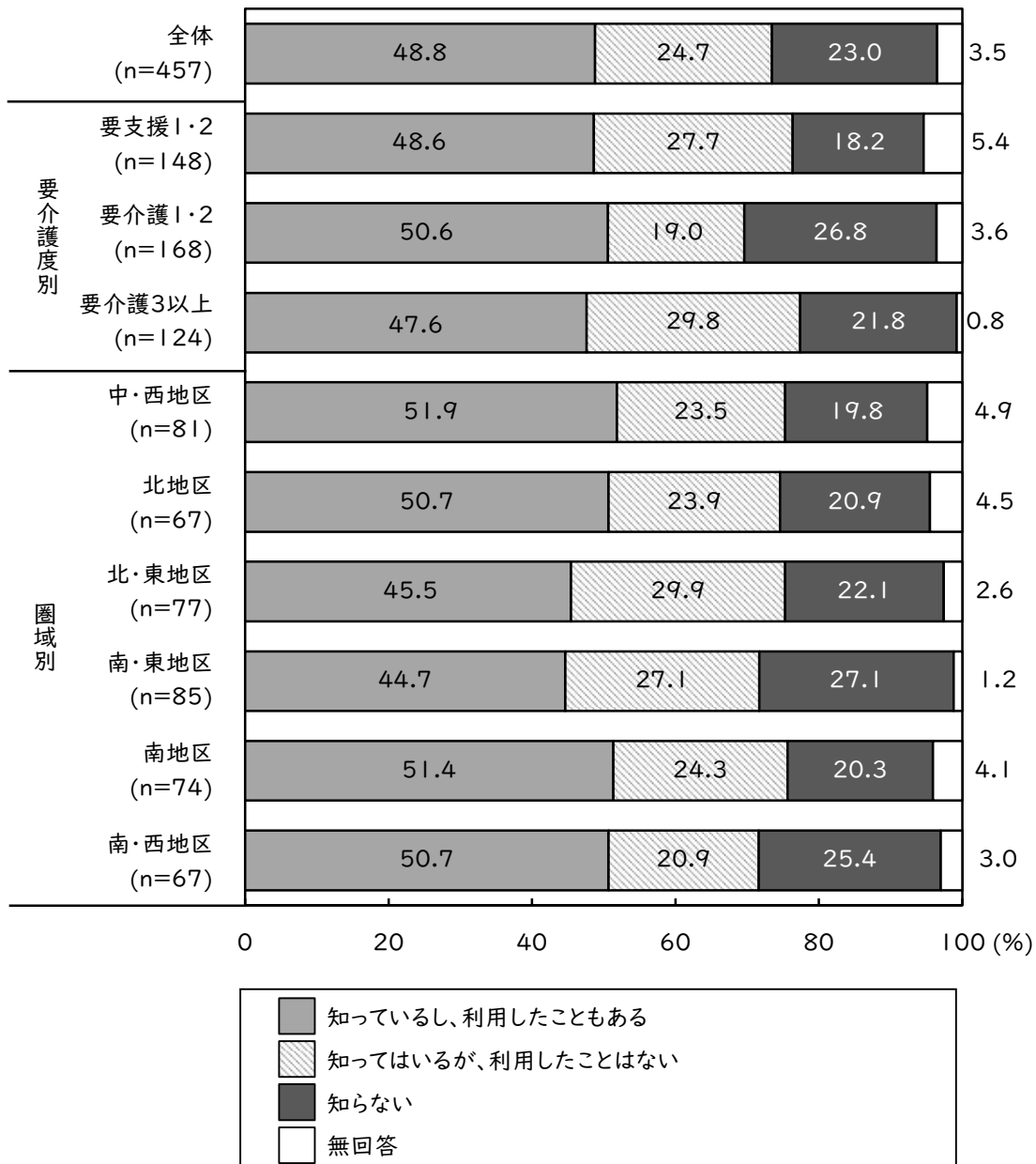
## 工. 高齢者支援に関することについて

問 14. 地域包括支援センターを知っていますか。(○は1つだけ)

《全体》では、「知っているし、利用したこともある」が 48.8%、「知っているが、利用したことはない」が 24.7%、「知らない」が 23.0%となっており、『知っている』（「知っているし、利用したこともある」+「知っているが、利用したことはない」）については 73.5%、『利用したことはない』（「知っているが、利用したことはない」+「知らない」）については 47.7%となっています。

要介護度別で見ると、『知っている』の割合は、《要支援1・2》では 76.3%、《要介護1・2》では 69.6%、《要介護3以上》では 77.4%と、《要介護1・2》では7割を下回っています。

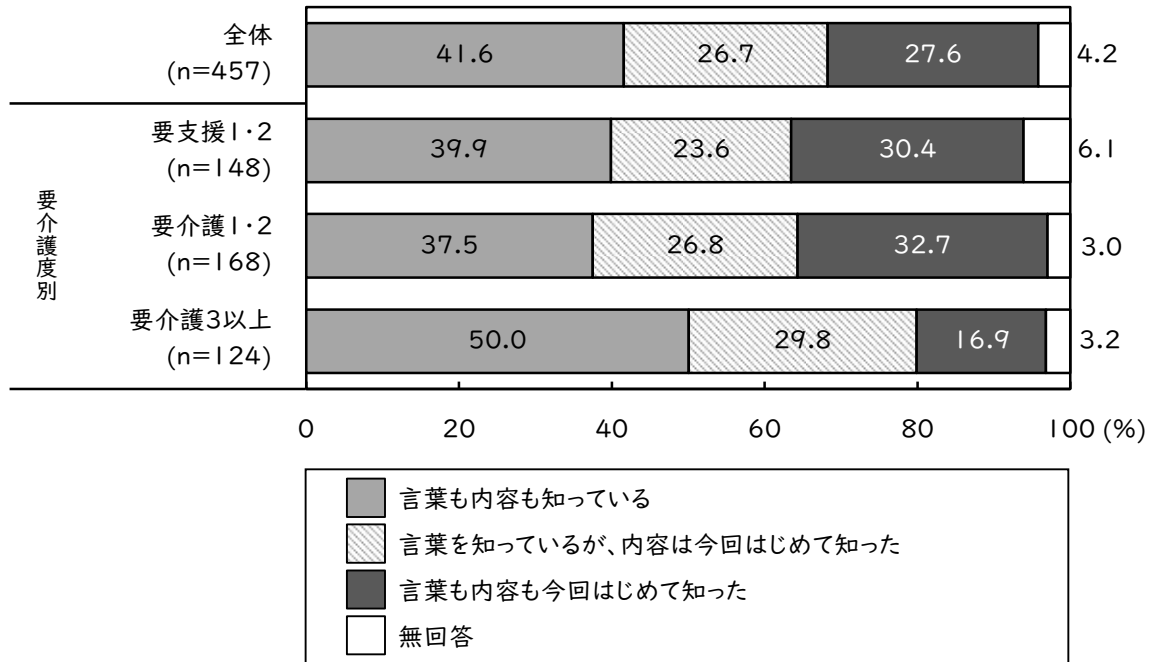
圏域別で見ると、『知っている』の割合はどの地区も7割台となっています（中・西地区：75.4%、北地区：74.6%、北・東地区：75.4%、南・東地区：71.8%、南地区：75.7%、南・西地区：71.6%）。



問 15. 成年後見制度を知っていますか。(○は1つだけ)

《全体》では、「言葉も内容も知っている」が 41.6%、「言葉を知っているが、内容は今回はじめて知った」が 26.7%、「言葉も内容も今回はじめて知った」が 27.6%となっています。

要介護度別でみると、「言葉も内容も知っている」の割合は《要介護3以上》で最も高く、50.0%となっています。

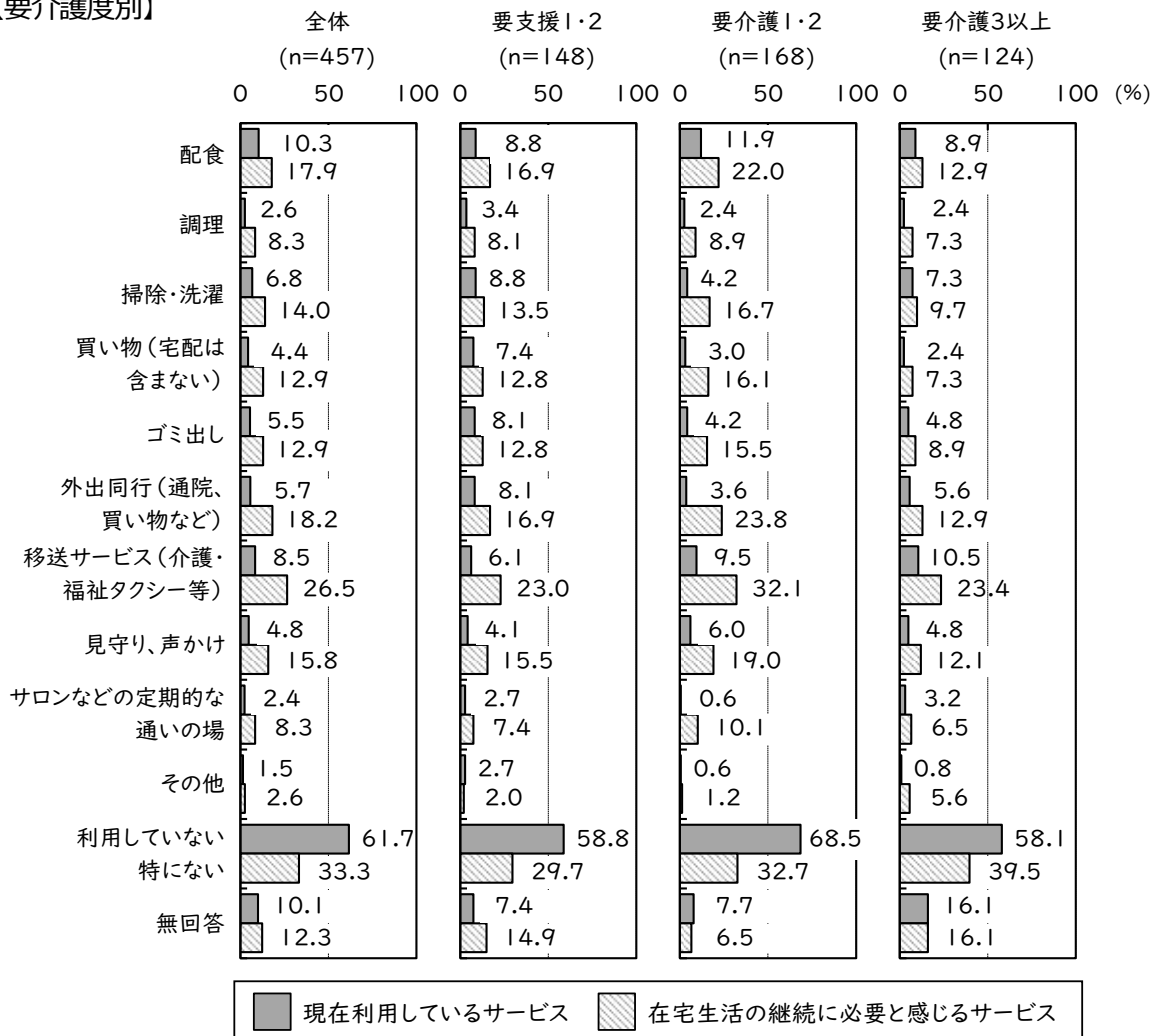


問 16. 現在、利用している「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください。(○はいくつでも)  
 問 17. 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス(現在利用しているが、さらに充実が必要と感じる支援・サービスを含む)について、ご回答ください。(○はいくつでも)

現在の利用状況について、《全体》では、「利用していない」が 61.7%と最も高くなっています。利用しているサービスについては、「配食」(10.3%)、「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」(8.5%)、「掃除・洗濯」(6.8%)の順で高くなっています。在宅生活の継続に必要と感じるサービスについては、「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」(26.5%)、「外出同行(通院、買い物など)」(18.2%)、「配食」(17.9%)の順で高くなっています。

要介護度別でみると、現在の利用状況については、どの区分も「利用していない」が最も高くなっています(要支援1・2:58.8%、要介護1・2:68.5%、要介護3以上:58.1%)。利用しているサービスについては、《要支援1・2》、《要介護1・2》では、「配食」が最も高くなっており(順に8.8%、11.9%)、《要支援1・2》については「掃除・洗濯」と同率となっています。《要介護3以上》では、「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」が最も高くなっています(10.5%)。在宅生活の継続に必要と感じるサービスについては、どの区分も「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」(要支援1・2:23.0%、要介護1・2:32.1%、要介護3以上:23.4%)、「外出同行(通院、買い物など)」(要支援1・2:16.9%、要介護1・2:23.8%、要介護3以上:12.9%)、「配食」(要支援1・2:16.9%、要介護1・2:22.0%、要介護3以上:12.9%)の順で割合が高く、特に「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」の割合はどの区分においても高くなっています。

【要介護度別】

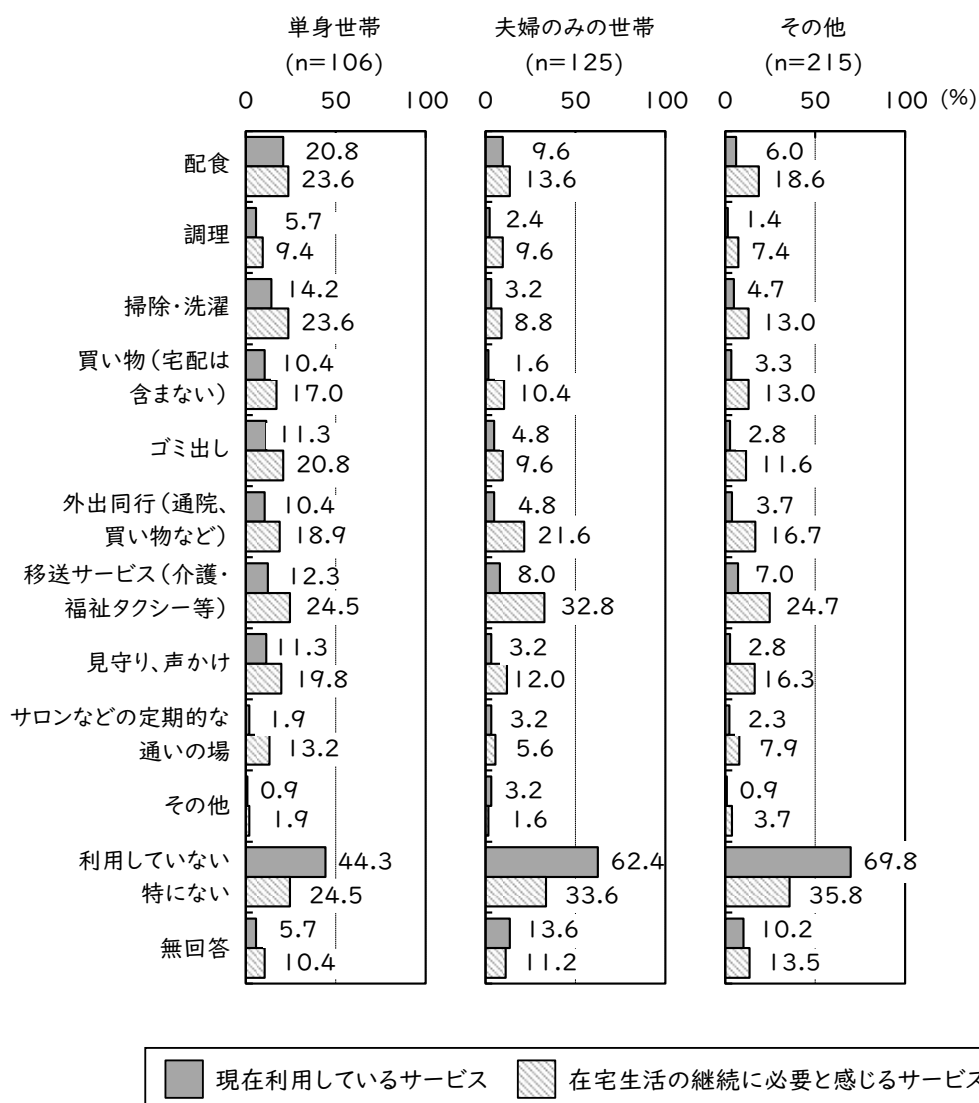


世帯構成別でみると、現在の利用状況については、どの区分も「利用していない」が最も高くなっていますが（単身世帯：44.3%、夫婦のみの世帯：62.4%、その他：69.8%）、《単身世帯》での割合は、《夫婦のみの世帯》、《その他》に比べて低くなっています。利用しているサービスについては、《単身世帯》、《夫婦のみの世帯》では、「配食」が最も高く（順に 20.8%、9.6%）、《その他》では「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が最も高くなっています（7.0%）。

在宅生活の継続に必要と感じるサービスについては、どの区分も「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が最も高くなっています（単身世帯：24.5%、夫婦のみの世帯：32.8%、その他：24.7%）。

次に割合が高いものを見ると、《単身世帯》では「配食」、「掃除・洗濯」（それぞれ 23.6%）、「ゴミ出し」（20.8%）、「見守り、声かけ」（19.8%）の順、《夫婦のみの世帯》では「外出同行（通院、買い物など）」（21.6%）、「配食」（13.6%）、「見守り、声かけ」（12.0%）の順、《その他》では「配食」（18.6%）、「外出同行（通院、買い物など）」（16.7%）、「見守り、声かけ」（16.3%）の順となっています。

### 【世帯構成別】



## オ. 防災について

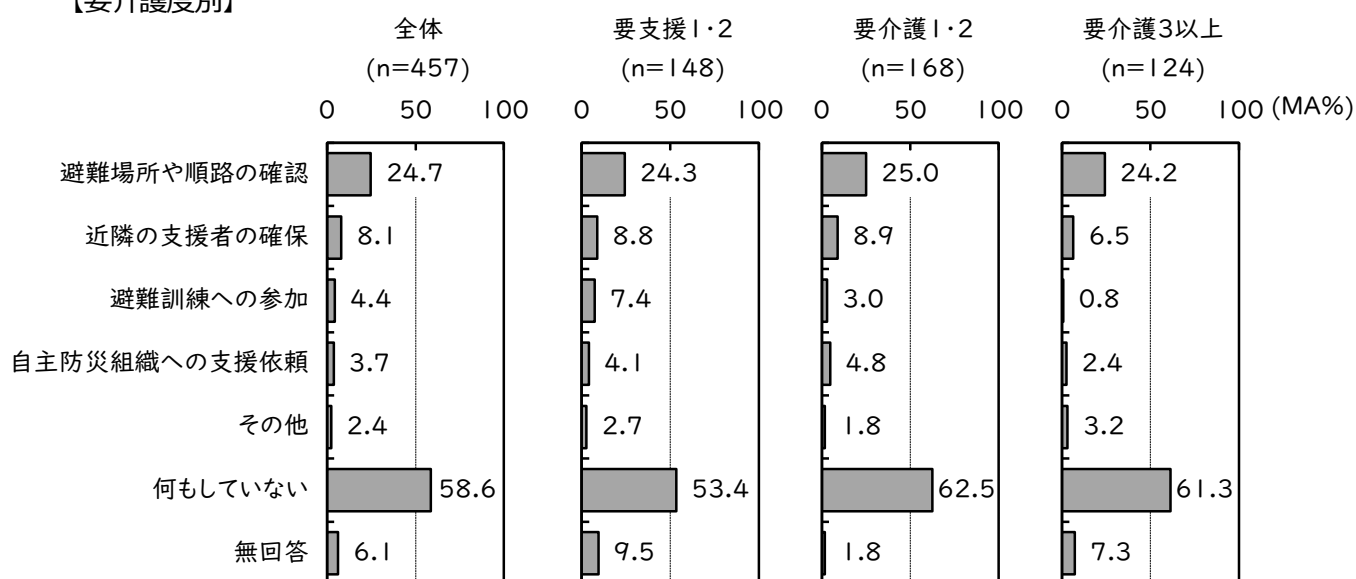
問 18. 災害時の避難においてどのような対策をとっていますか。(〇はいくつでも)

《全体》では、「何もしていない」を除くと、「避難場所や順路の確認」が 24.7%と最も高く、それ以外については 1 割未満となっています。「何もしていない」については 58.6%となっています。

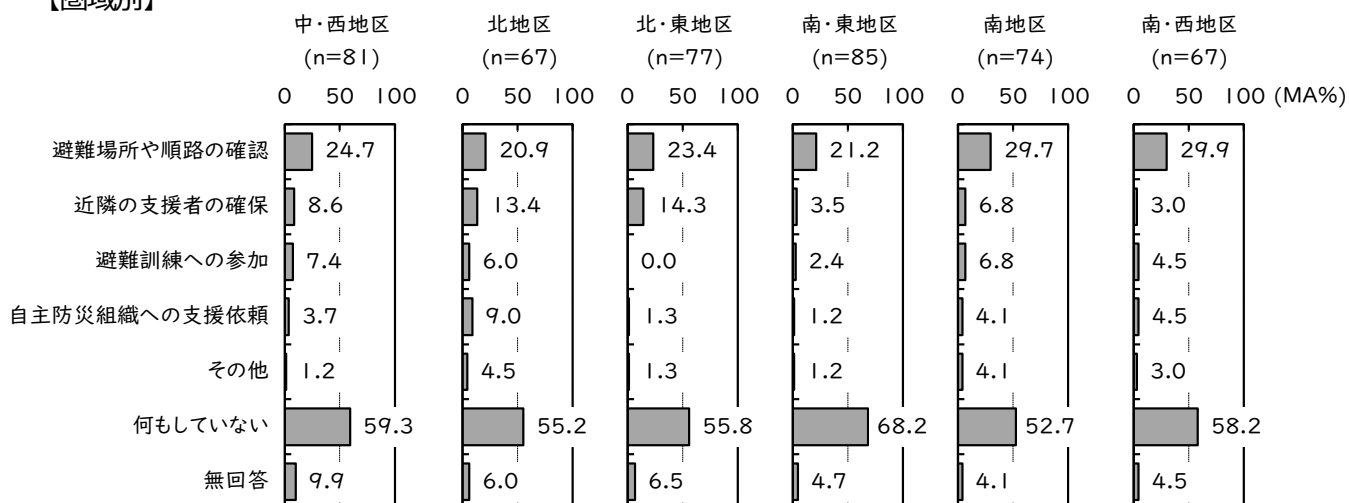
要介護度別でみると、「何もしていない」の割合は《要介護 1・2》で最も高く、62.5%となっています。

圏域別でみると、「何もしていない」の割合は《南・東地区》で最も高く、他の地区の割合を大きく上回り、68.2%となっています。

### 【要介護度別】



### 【圏域別】

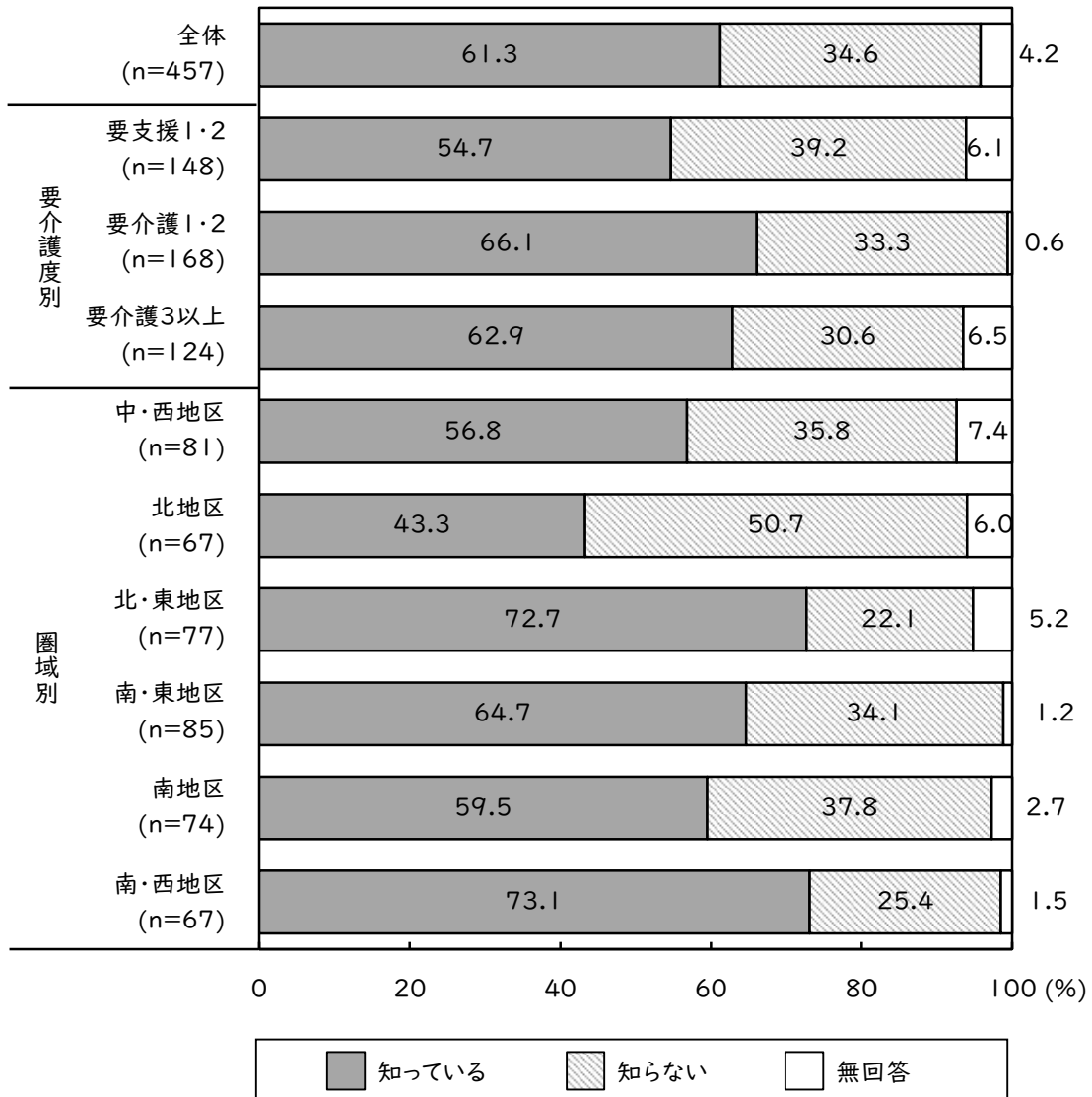


問 19. 地震などの災害がおこった場合の避難場所を知っていますか。(○は1つだけ)

《全体》では、「知っている」が61.3%、「知らない」が34.6%となっています。

要介護度別でみると、「知っている」の割合は《要介護1・2》で最も高く、66.1%となっています。

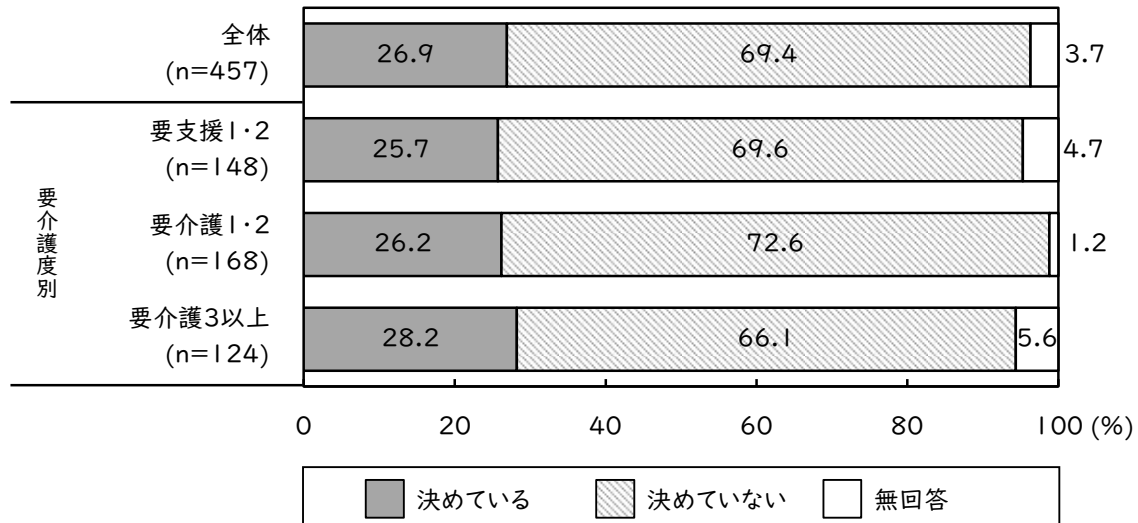
圏域別でみると、「知っている」の割合は《北・東地区》、《南・西地区》で高く、7割強となっています（順に72.7%、73.1%）。



問 20. 避難方法や安否確認の方法について、家族と話し合っ決めていきますか。(○は1つだけ)

《全体》では、「決めている」が 26.9%、「決めていない」が 69.4%となっています。

要介護度別でみると、「決めている」の割合は、《要支援1・2》では 25.7%、《要介護1・2》では 26.2%、《要介護3以上》では 28.2%と、《要介護3以上》での割合が最も高くなっています。



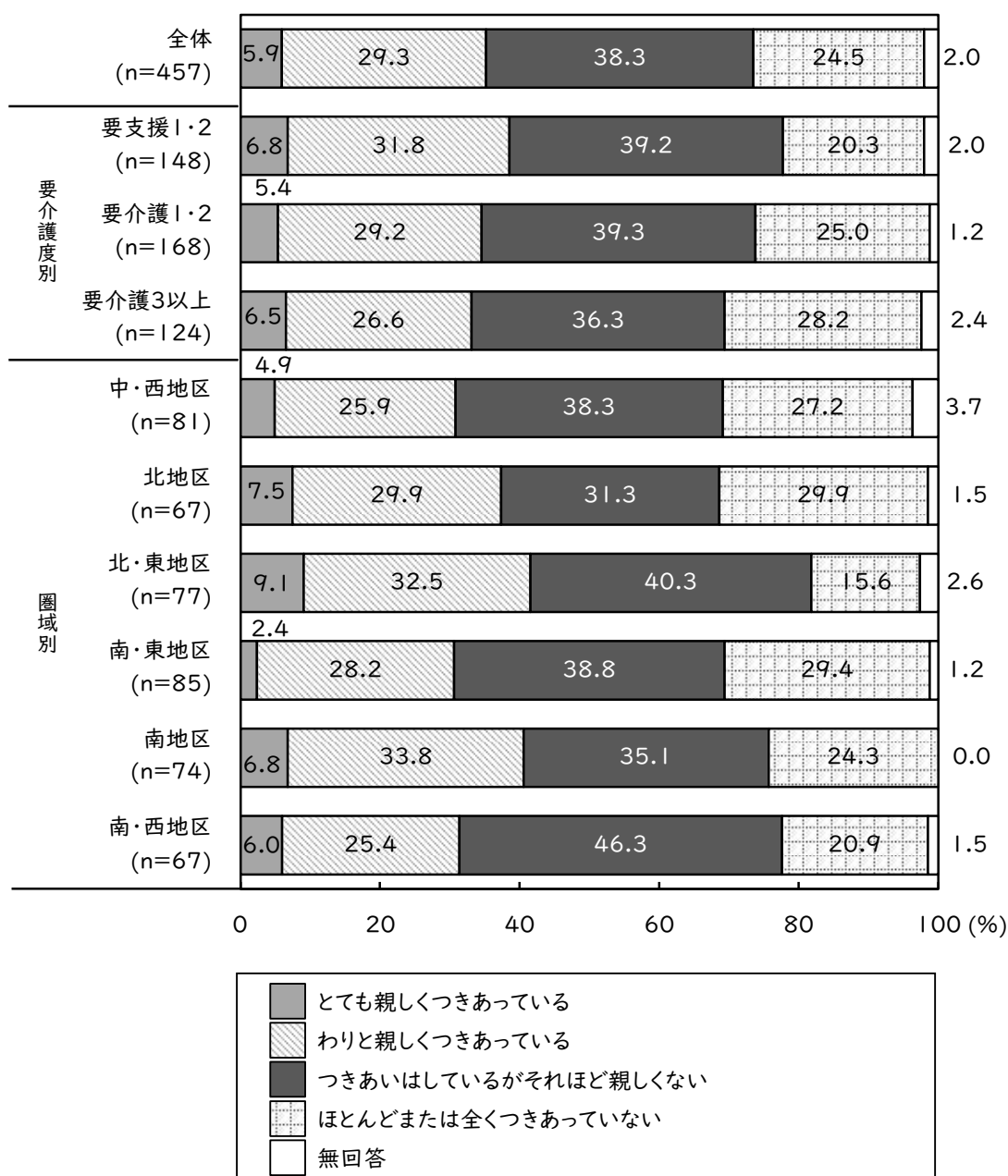
## カ. ふだんの生活について

問 21. 近所のつきあいをどの程度していますか。(○は1つだけ)

《全体》では、「つきあいはしているがそれほど親しくない」が 38.3%と最も高く、次いで、「わりと親しくつきあっている」が 29.3%、「ほとんどまたは全くつきあっていない」が 24.5%となっています。『親しくつきあっている』（「とても親しくつきあっている」+「わりと親しくつきあっている」）の割合については 35.2%となっています。

要介護度別でみると、『親しくつきあっている』の割合は要介護度が上がるほど低くなり、《要支援1・2》では 38.6%、《要介護1・2》では 34.6%、《要介護3以上》では 33.1%となっています。

圏域別でみると、『親しくつきあっている』の割合は《北・東地区》で最も高く、4割を超えています（中・西地区：30.8%、北地区：37.4%、北・東地区：41.6%、南・東地区：30.6%、南地区：40.6%、南・西地区：31.4%）。



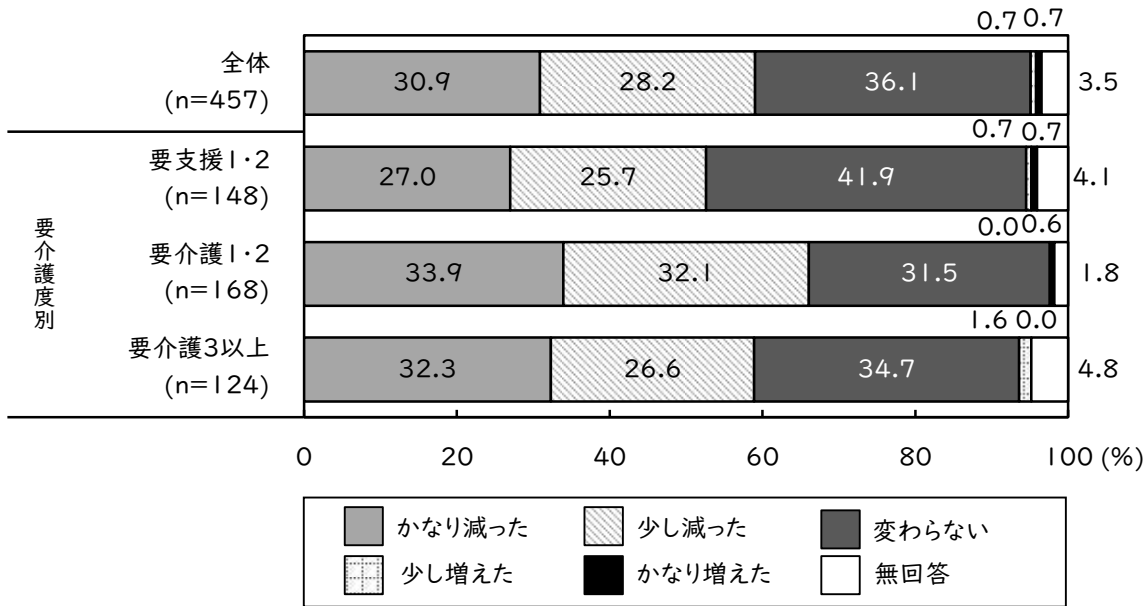


問 22. 新型コロナウイルスの影響によって、人と会話する時間に変化はありましたか。(○は1つだけ)

①対面での会話

《全体》では、「変わらない」が 36.1%と最も高く、次いで、「かなり減った」が 30.9%、「少し減った」が 28.2%となっています。『減った』（「かなり減った」+「少し減った」）の割合については 59.1%となっています。

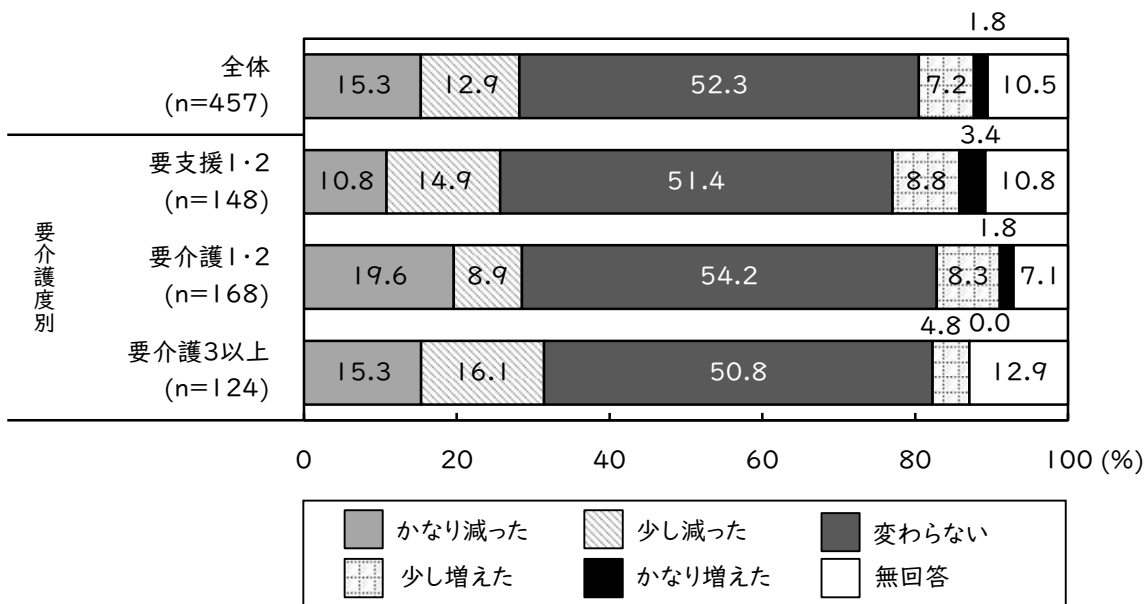
要介護度別でみると、『減った』の割合は《要介護 1・2》で最も高くなっています（要支援 1・2：52.7%、要介護 1・2：66.0%、要介護 3以上：58.9%）。



②非対面での会話（電話やメール等）

《全体》では、「変わらない」が 52.3%と最も高く、次いで、「かなり減った」が 15.3%、「少し減った」が 12.9%となっています。『減った』（「かなり減った」+「少し減った」）の割合については 28.2%となっています。

要介護度別でみると、『減った』の割合は介護度が上がるほど高くなり、《要介護 3以上》では 31.4%となっています（要支援 1・2：25.7%、要介護 1・2：28.5%）。

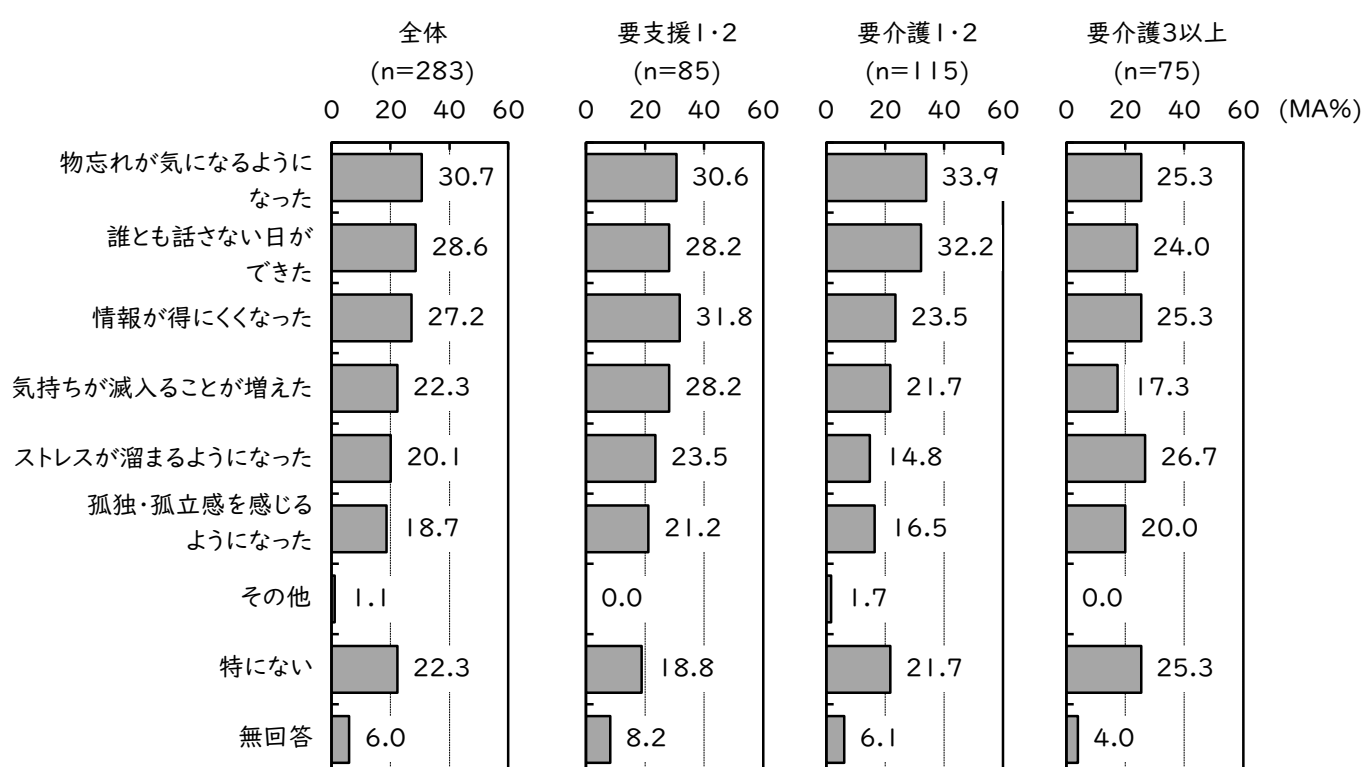


〈新型コロナウイルスの影響によって人との会話が減った方のみ〉

問 23. 会話の時間が減ったことでどんな影響がありましたか。(○はいくつでも)

《全体》では、「物忘れが気になるようになった」が 30.7%と最も高く、次いで、「誰とも話さない日があった」が 28.6%、「情報が得にくくなった」が 27.2%となっています。

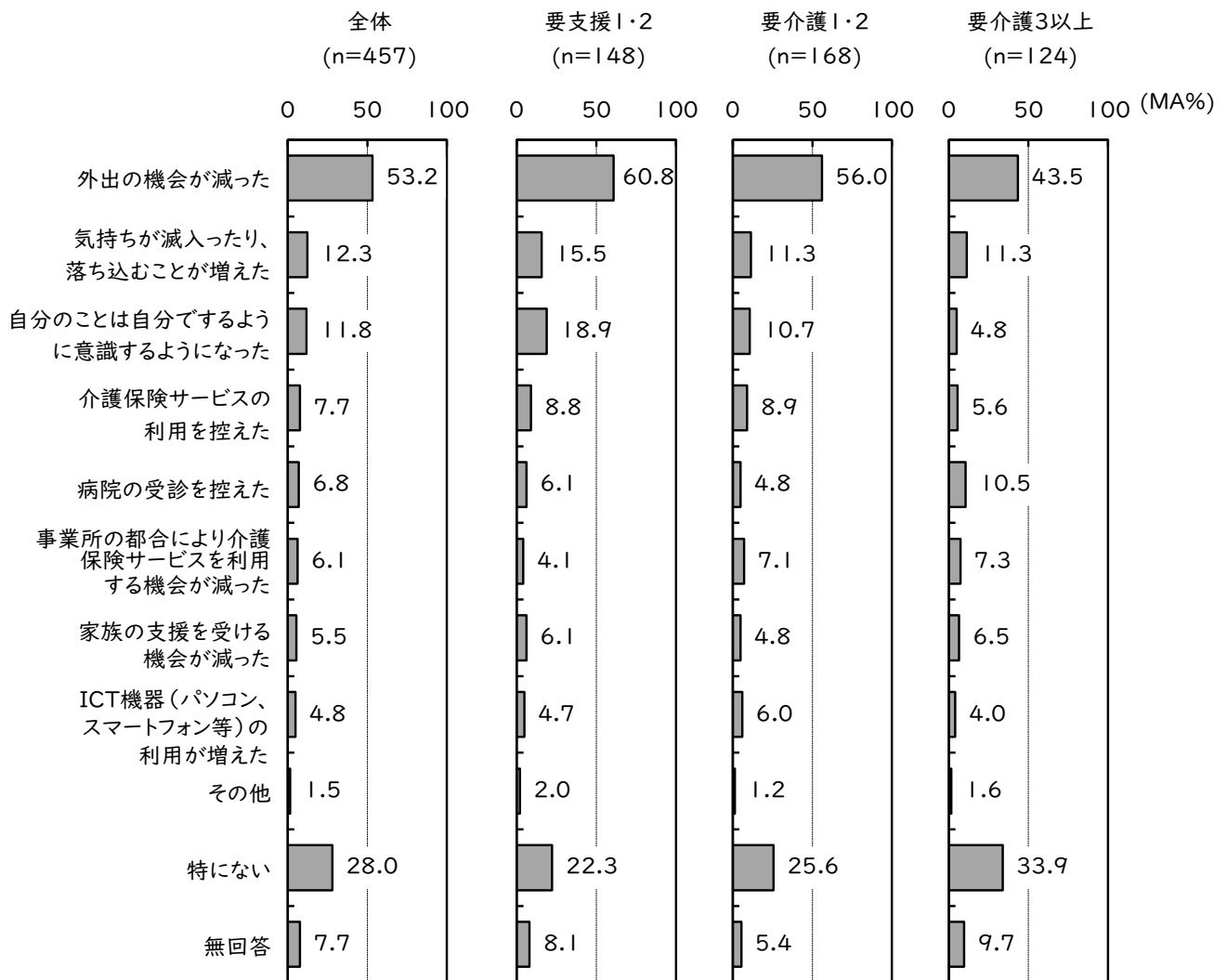
要介護度別でみると、《要支援1・2》、《要介護1・2》では、「物忘れが気になるようになった」(要支援1・2 : 30.6%、要介護1・2 : 33.9%)、「誰とも話さない日があった」(要支援1・2 : 28.2%、要介護1・2 : 32.2%)、「情報が得にくくなった」(要支援1・2 : 31.8%、要介護1・2 : 23.5%) が上位3位となっています。《要介護3以上》では、「物忘れが気になるようになった」、「情報が得にくくなった」、「ストレスが溜まるようになった」が上位3位となっています(順に 25.3%、25.3%、26.7%)。



問 24. 新型コロナウイルス感染拡大によって、人との会話以外に変化したことはありますか。(○はい/×でも)

《全体》では、「外出の機会が減った」が 53.2%と最も高く、次いで、「気持ちが減入ったり、落ち込むことが増えた」が 12.3%、「自分のことは自分でするように意識するようになった」が 11.8%となっています。

要介護度別で見ると、どの区分も「外出の機会が減った」が最も高くなっています（要支援 1・2：60.8%、要介護 1・2：56.0%、要介護 3 以上：43.5%）。



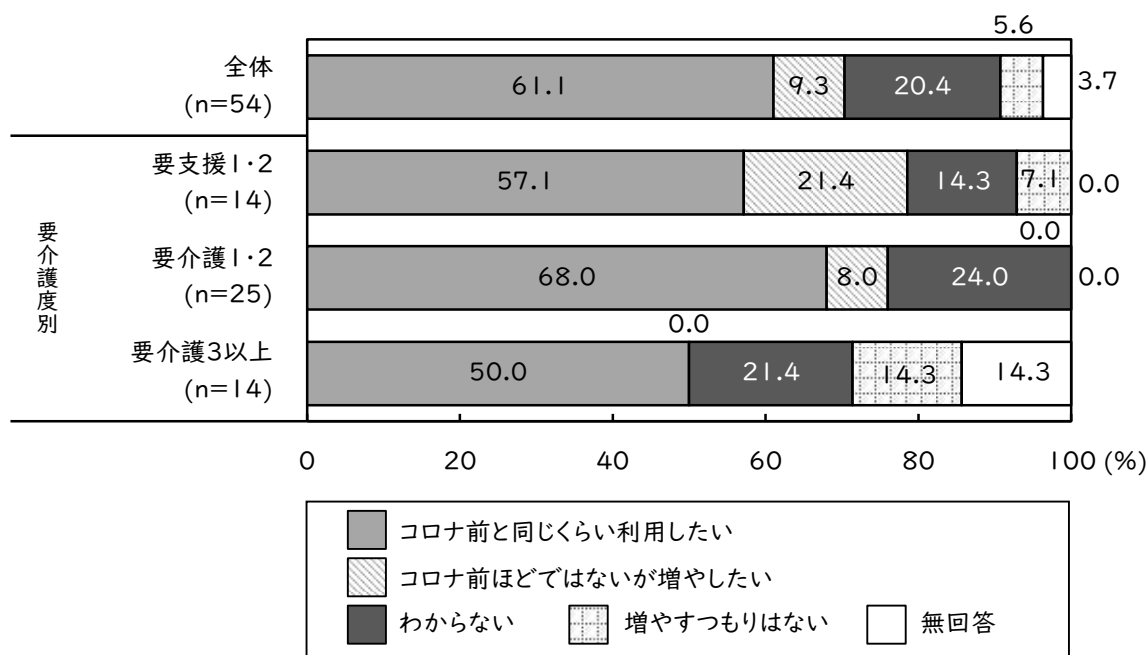
〈新型コロナウイルスの影響によって介護サービスの利用が減った方のみ〉

問 25. 新型コロナウイルス感染症の収束後は、介護保険サービスをどのように利用したいと思いますか。

(○は1つだけ)

《全体》では、「わからない」を除くと、「コロナ前と同じくらい利用したい」が 61.1%と最も高く、「コロナ前ほどではないが増やしたい」が 9.3%となっています。『増やしたい』（「コロナ前と同じくらい利用したい」+「コロナ前ほどではないが増やしたい」）の割合については 70.4%となっています。

要介護度別でみると、『増やしたい』の割合は要介護度が上がるほど低くなっています（要支援1・2：78.5%、要介護1・2：76.0%、要介護3以上：50.0%）。

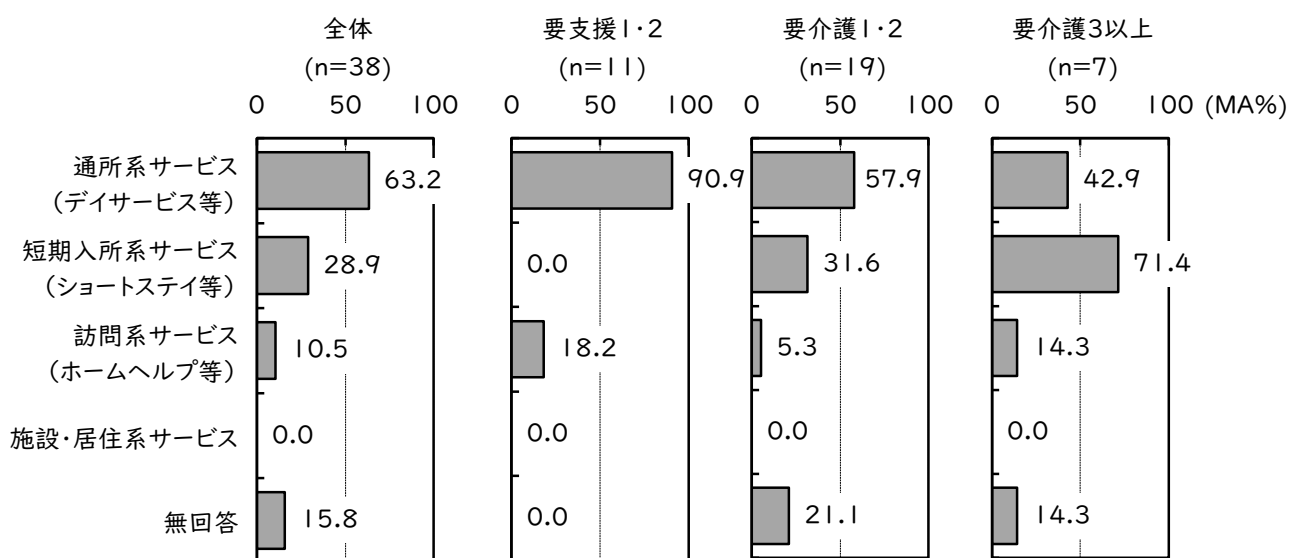


〈新型コロナウイルスの影響によって介護サービスの利用が減ったが、今後は増やしたい方のみ〉

問 26. どのサービスを増やしたいですか。(○は1つだけ)

《全体》では、「通所系サービス（デイサービス等）」が 63.2%と最も高く、次いで、「短期入所系サービス（ショートステイ等）」が 28.9%、「訪問系サービス（ホームヘルプ等）」が 10.5%となっています。

要介護度別でみると、《要支援1・2》、《要介護1・2》では「通所系サービス（デイサービス等）」が最も高く（要支援1・2：90.9%、要介護1・2：57.9%）、《要介護3以上》では「短期入所系サービス（ショートステイ等）」が最も高くなっています（71.4%）。



《新型コロナウイルスの影響によって介護サービスの利用が減り、今後も利用を増やすつもりがない人のみ》

問 27. 増やすつもりがない理由は何ですか。(○はいくつでも)

「今の利用量での生活に慣れ、やっつけられる」、「新たな感染症への不安がある」などが理由としてあがっています。

	(%)					
	今の利用量での生活に慣れ、やっつけられる	人とのコミュニケーションが怖くなった	新たな感染症への不安がある	面倒に感じる、気が進まない	その他	無回答
全体(n=3)	33.3	0.0	33.3	0.0	33.3	0.0

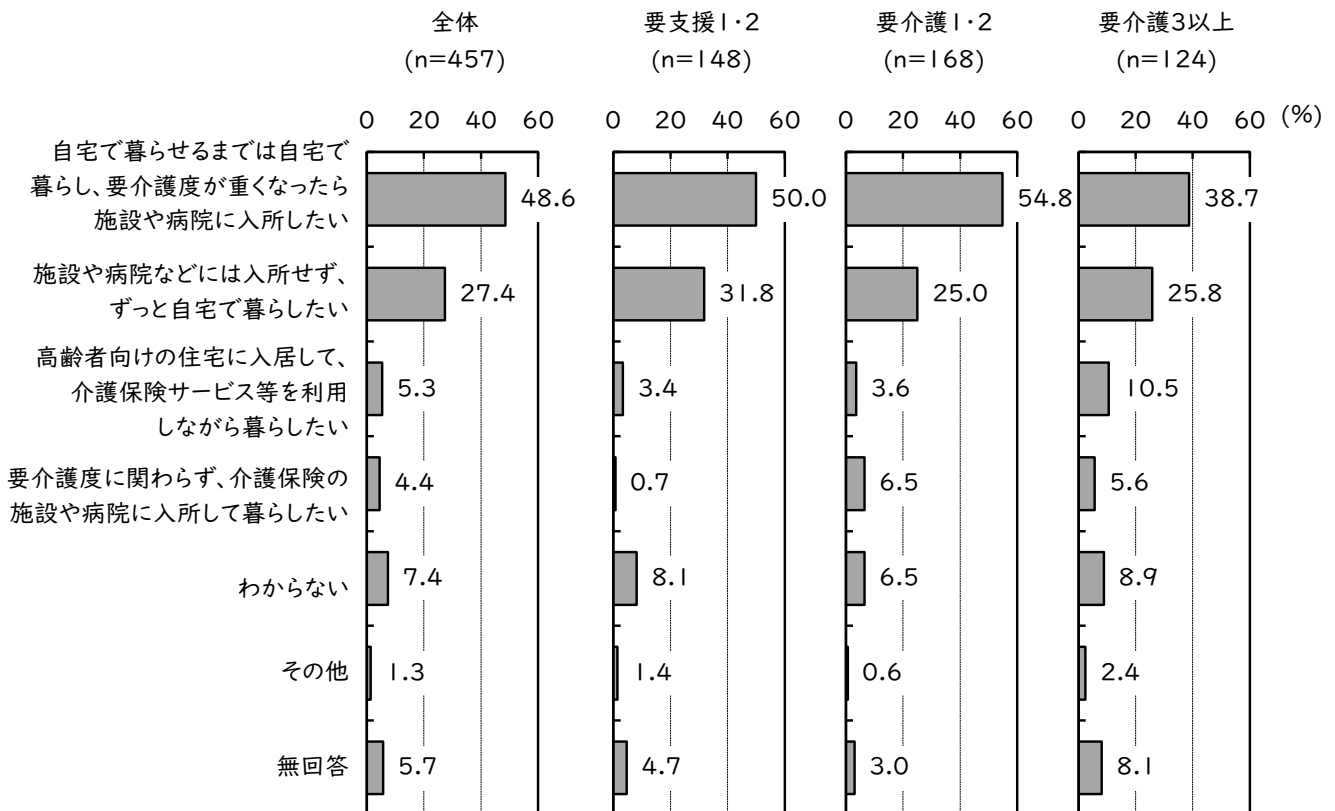
## キ. 今後の暮らしについて

問 28. 今後どこでどのように暮らしたいとお考えですか。(○は1つだけ)

《全体》では、「自宅で暮らせるまでは自宅で暮らし、要介護度が重くなったら施設や病院に入所したい」が48.6%と最も高く、次いで、「施設や病院などには入所せず、ずっと自宅で暮らしたい」が27.4%となっています。

要介護度別でみると、どの区分も「自宅で暮らせるまでは自宅で暮らし、要介護度が重くなったら施設や病院に入所したい」が最も高くなっており、《要支援1・2》では50.0%、《要介護1・2》では54.8%、《要介護3以上》では38.7%と、《要介護1・2》での割合が最も高くなっています。また、《要介護3以上》の割合は他の区分に比べて低くなっています。

### 【要介護度別】

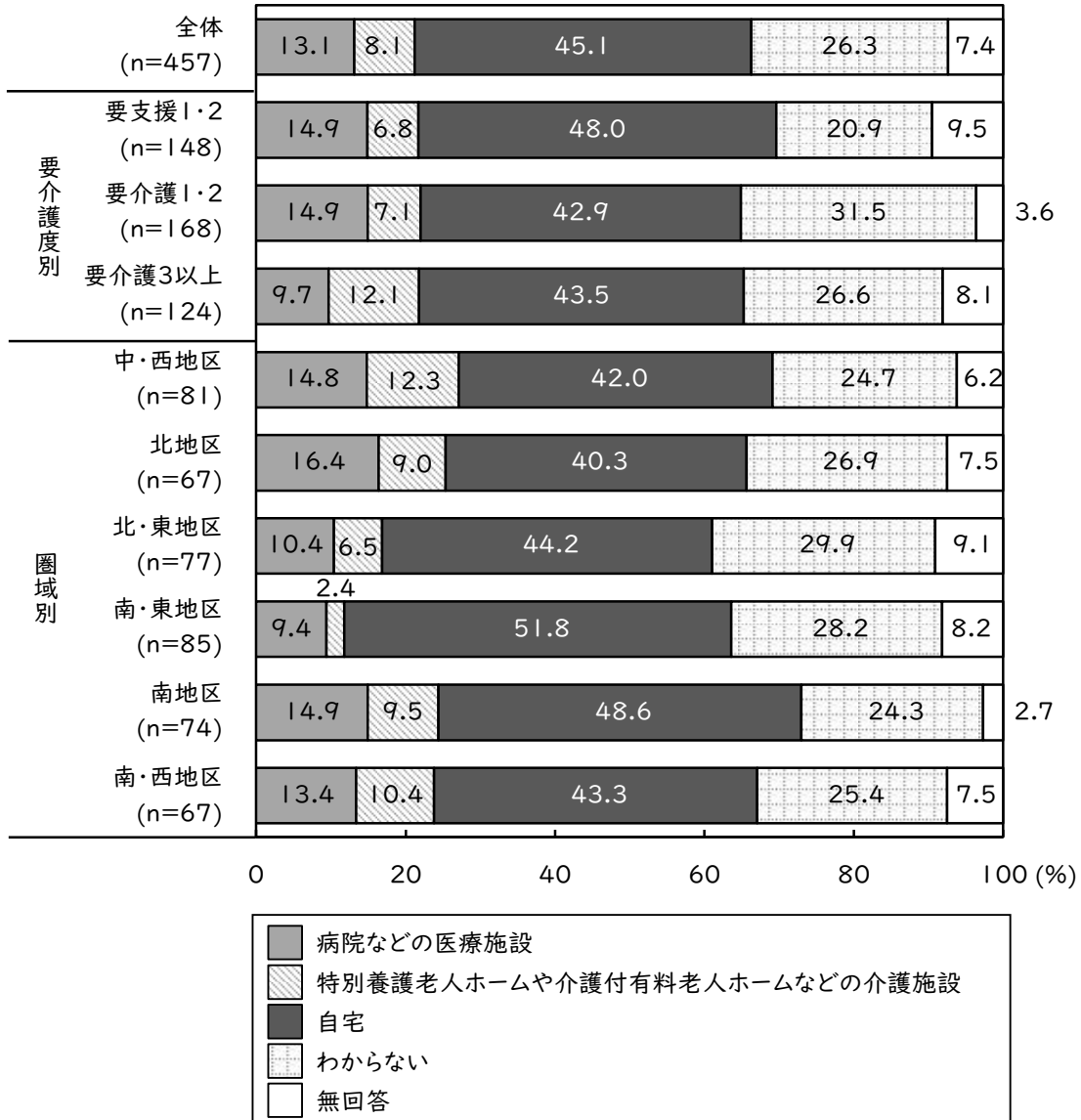


問 29. 人生の最期を迎えるとしたら、どこで迎えたいですか。(○は1つだけ)

《全体》では、「わからない」を除くと、「自宅」が 45.1%と最も高く、次いで、「病院などの医療施設」が 13.1%と なっています。

要介護度別で見ると、どの区分も「自宅」が最も高くなっており、《要支援1・2》では 48.0%、《要介護1・2》 では 42.9%、《要介護3以上》では 43.5%と、《要支援1・2》での割合が最も高くなっています。

圏域別で見ると、どの区分も「自宅」が最も高く、4割を超えており、《南地区》での割合が最も高くなっています。

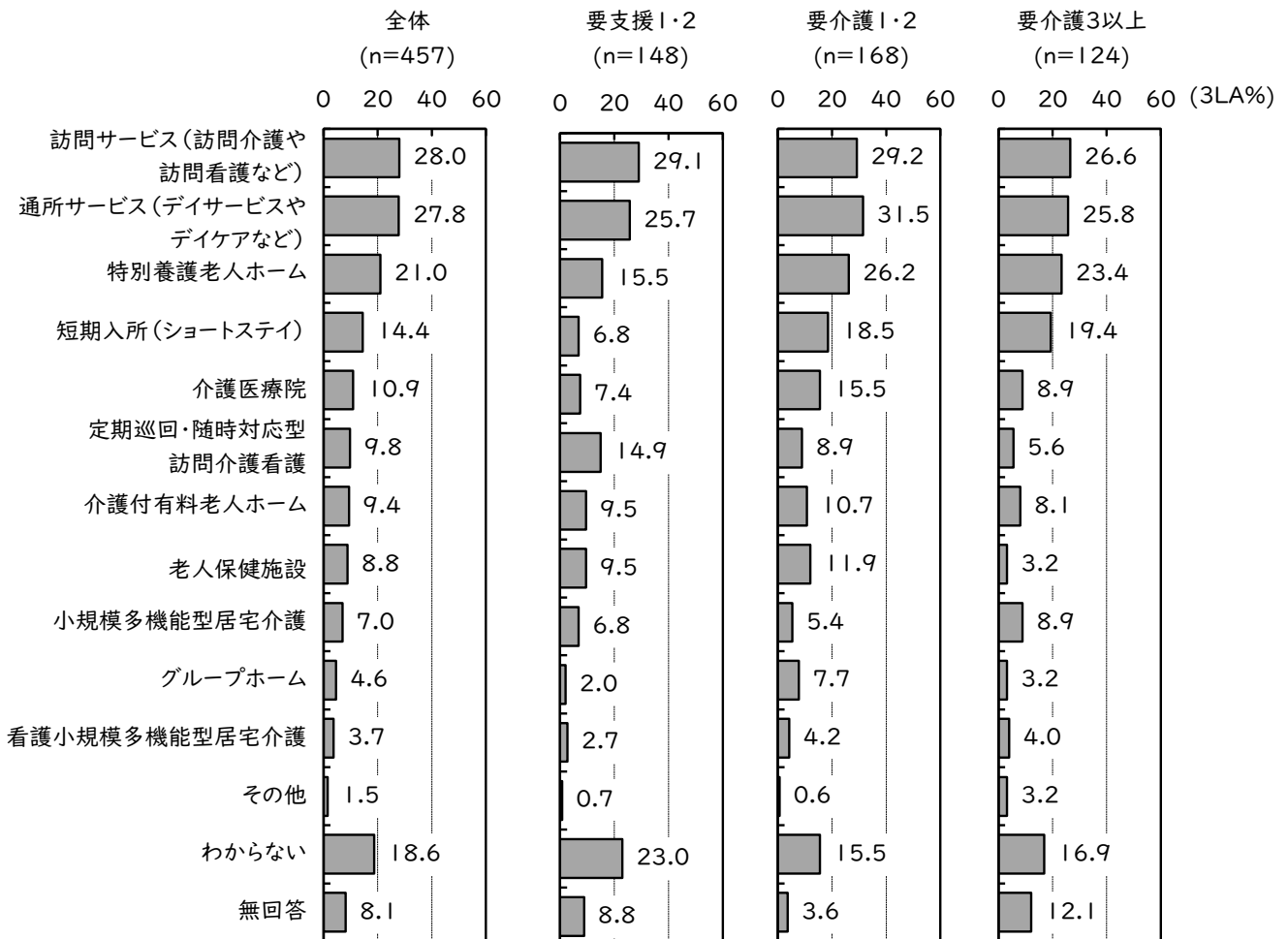


問 30. 今後、どのようなサービスを充実していく必要があると考えられますか。(○は3つまで)

《全体》では、「訪問サービス（訪問介護や訪問看護など）」が 28.0%と最も高く、次いで、「通所サービス（デイサービスやデイケアなど）」が 27.8%、「特別養護老人ホーム」が 21.0%となっています。

要介護度別でみると、どの区分においても、「わからない」を除くと、「訪問サービス（訪問介護や訪問看護など）」（要支援1・2：29.1%、要介護1・2：29.2%、要介護3以上：26.6%）、「通所サービス（デイサービスやデイケアなど）」（要支援1・2：25.7%、要介護1・2：31.5%、要介護3以上：25.8%）、「特別養護老人ホーム」（要支援1・2：15.5%、要介護1・2：26.2%、要介護3以上：23.4%）が上位3位となっていますが、《要支援1・2》、《要介護3以上》では「訪問サービス（訪問介護や訪問看護など）」が最も高く、《要介護1・2》では「通所サービス（デイサービスやデイケアなど）」が最も高くなっています。

【要介護度別】





圏域別でみると、どの地区も、「訪問サービス（訪問介護や訪問看護など）」、「通所サービス（デイサービスやデイケアなど）」が上位2位となっていますが、「訪問サービス（訪問介護や訪問看護など）」の割合は《南・東地区》で最も高く、他の地区の割合を大きく上回り、37.6%となっています。「通所サービス（デイサービスやデイケアなど）」の割合については、《北地区》で最も高く、32.8%となっています。

そのほか、《中・西地区》、《北地区》、《北・東地区》、《南・東地区》では「特別養護老人ホーム」の割合も比較的高くなっています（中・西地区：27.2%、北地区：22.4%、北・東地区：23.4%、南・東地区：21.2%）。

【圏域別】

(3LA%)

	訪問サービス(訪問介護や訪問看護など)	通所サービス(デイサービスやデイケアなど)	短期入所(ショートステイ)	小規模多機能型居宅介護	看護小規模多機能型居宅介護	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	グループホーム	介護付有料老人ホーム	特別養護老人ホーム	老人保健施設	介護医療院	その他	わからない	無回答
中・西地区 (n=81)	28.4	29.6	17.3	6.2	1.2	7.4	7.4	11.1	27.2	7.4	6.2	1.2	14.8	9.9
北地区 (n=67)	28.4	32.8	7.5	6.0	3.0	13.4	4.5	7.5	22.4	3.0	19.4	1.5	19.4	6.0
北・東地区 (n=77)	28.6	26.0	13.0	3.9	5.2	9.1	2.6	7.8	23.4	13.0	9.1	0.0	18.2	7.8
南・東地区 (n=85)	37.6	27.1	17.6	11.8	3.5	10.6	5.9	10.6	21.2	7.1	16.5	4.7	14.1	4.7
南地区 (n=74)	20.3	27.0	14.9	6.8	4.1	5.4	6.8	8.1	18.9	8.1	6.8	1.4	28.4	4.1
南・西地区 (n=67)	23.9	26.9	16.4	7.5	4.5	13.4	0.0	10.4	13.4	11.9	9.0	0.0	19.4	13.4

## ク. 介護について

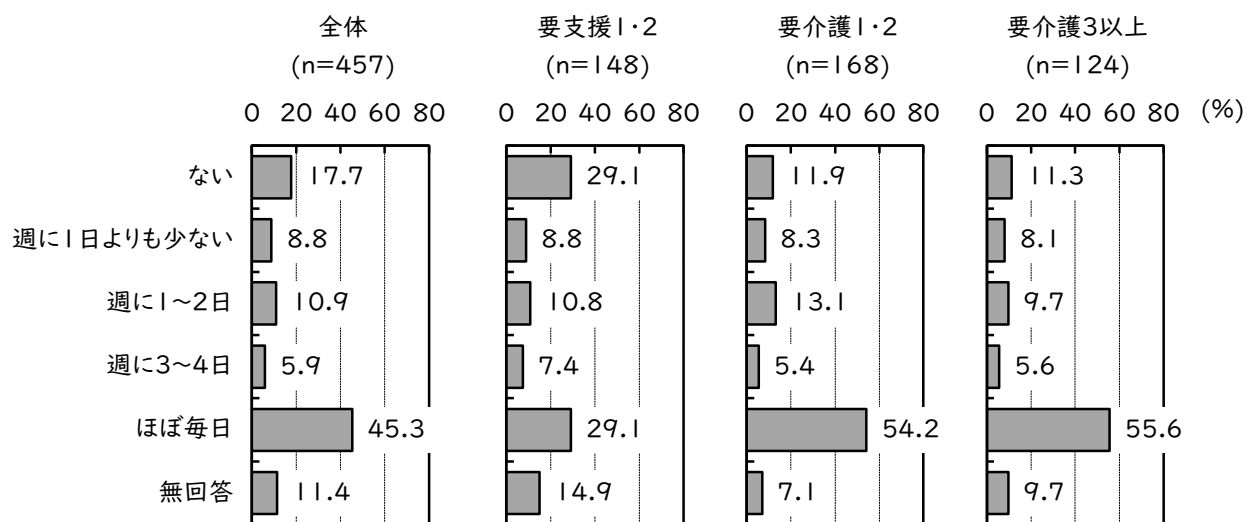
問 31. ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか（同居していない子どもや親族等からの介護を含む）。（○は1つだけ）

《全体》では、「ほぼ毎日」が 45.3%と最も高く、次いで、「ない」が 17.7%、「週に1～2日」が 10.9%となっています。

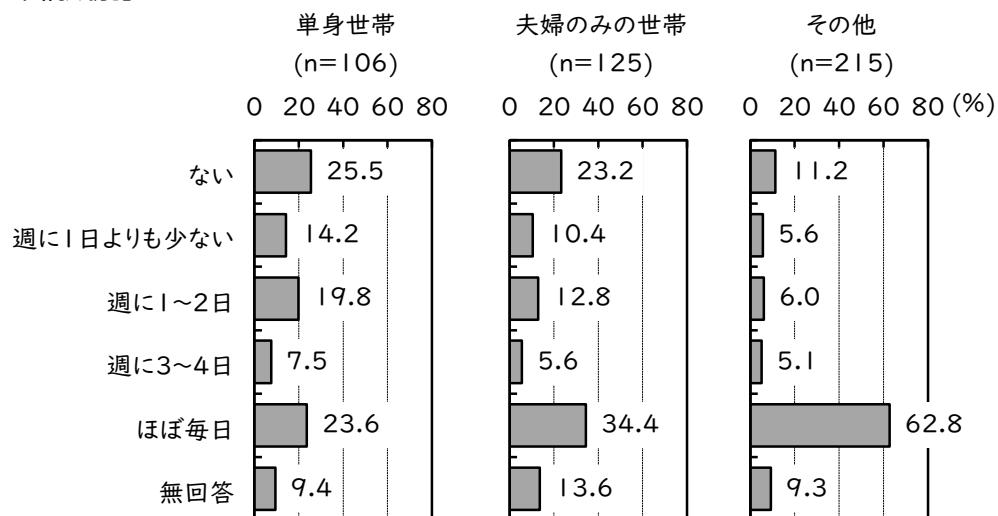
要介護度別で見ると、「ほぼ毎日」の割合は要介護度が上がるほど高くなり、《要支援1・2》では 29.1%、《要介護1・2》では 54.2%、《要介護3以上》では 55.6%と、特に《要支援1・2》から《要介護1・2》にかけての増加が大きくなっています。

世帯構成別で見ると、「ほぼ毎日」の割合は《その他》で最も高く、62.8%となっています。

### 【要介護度別】

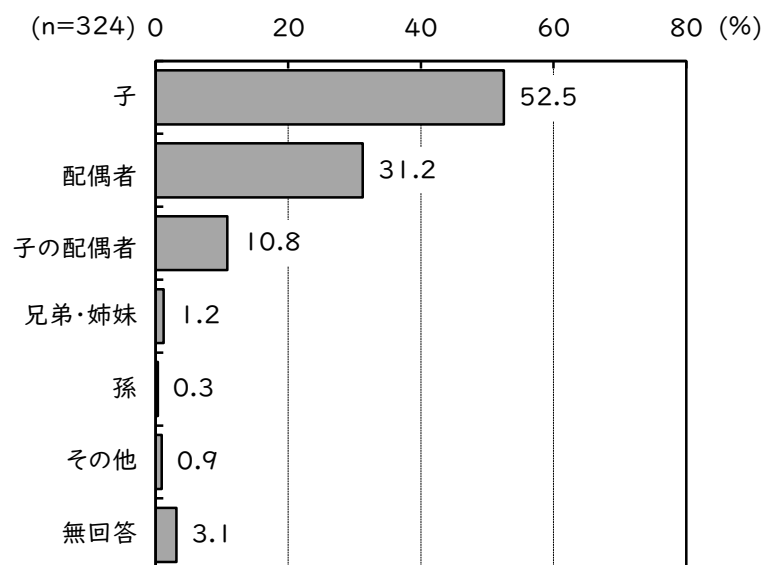


### 【世帯構成別】



問 32. 主な介護者の方はどなたですか。あて名の方からみた関係でお答えください。(○は1つだけ)

「子」が 52.5%と最も高く、次いで、「配偶者」が 31.2%、「子の配偶者」が 10.8%となっています。



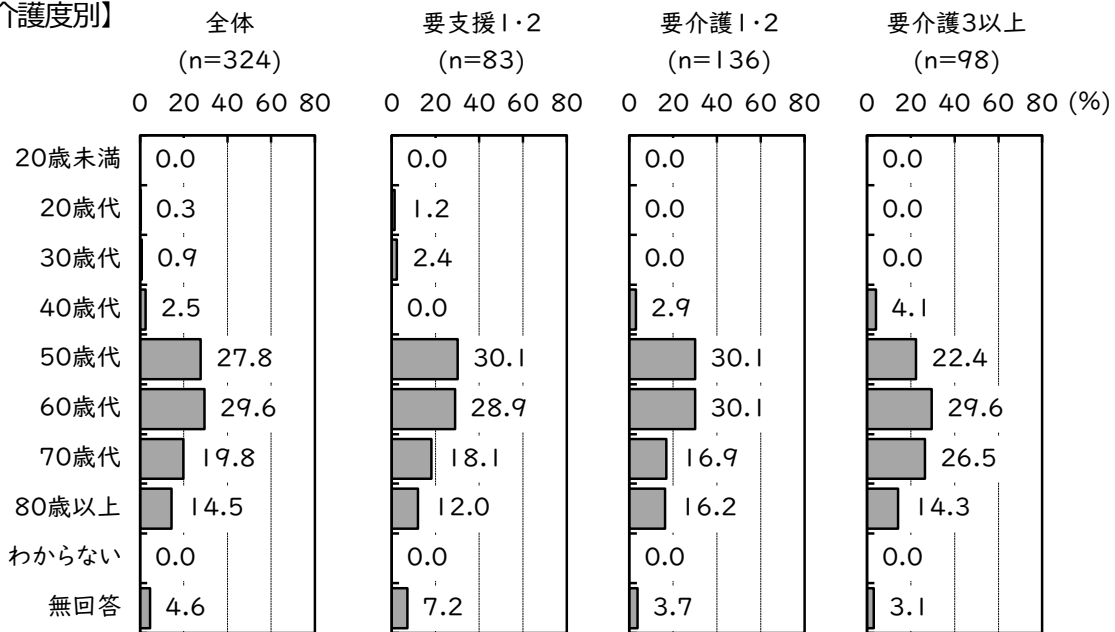
問 33. 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください。(○は1つだけ)

《全体》では、「60代」が29.6%と最も高く、次いで、「50歳代」が27.8%、「70歳代」が19.8%となっています。

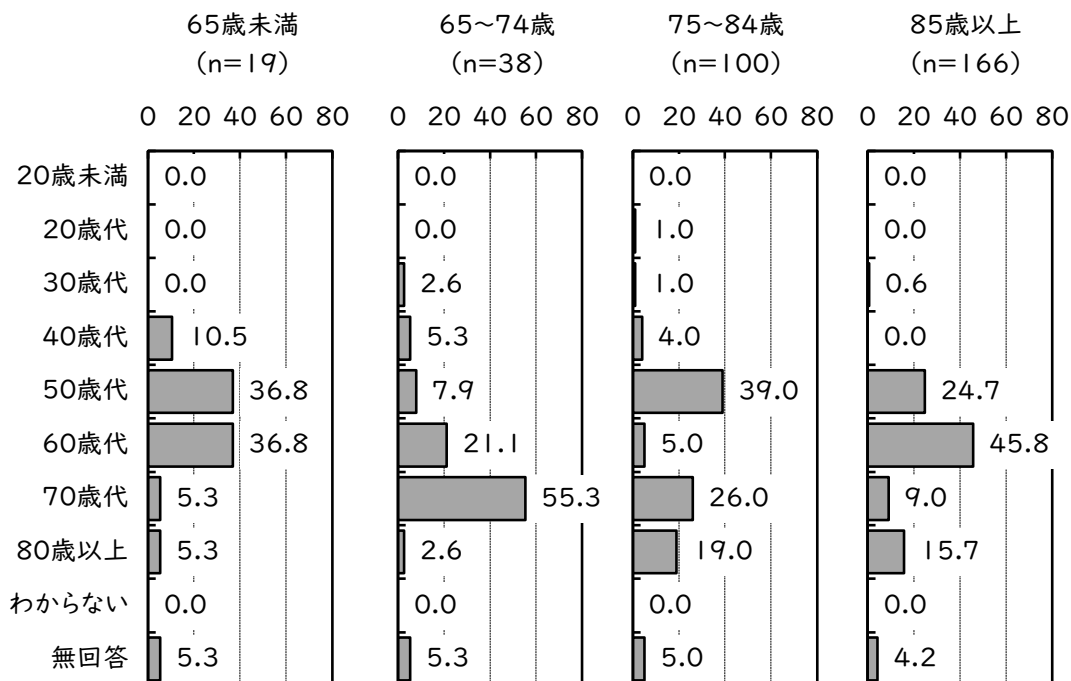
要介護度別でみると、《要支援1・2》では「50歳代」が最も高く(30.1%)、《要介護1・2》では「50歳代」と「60歳代」が同率で最も高くなっています(それぞれ30.1%)。《要介護3以上》では「60歳代」が最も高くなっています(29.6%)。

要介護者の年齢別でみると、《65～74歳》では「70歳代」が最も高く(55.3%)、《75～84歳》では「50歳代」(39.0%)、《85歳以上》については「60歳代」(45.8%)が最も高くなっています。

【要介護度別】



【要介護者の年齢別】



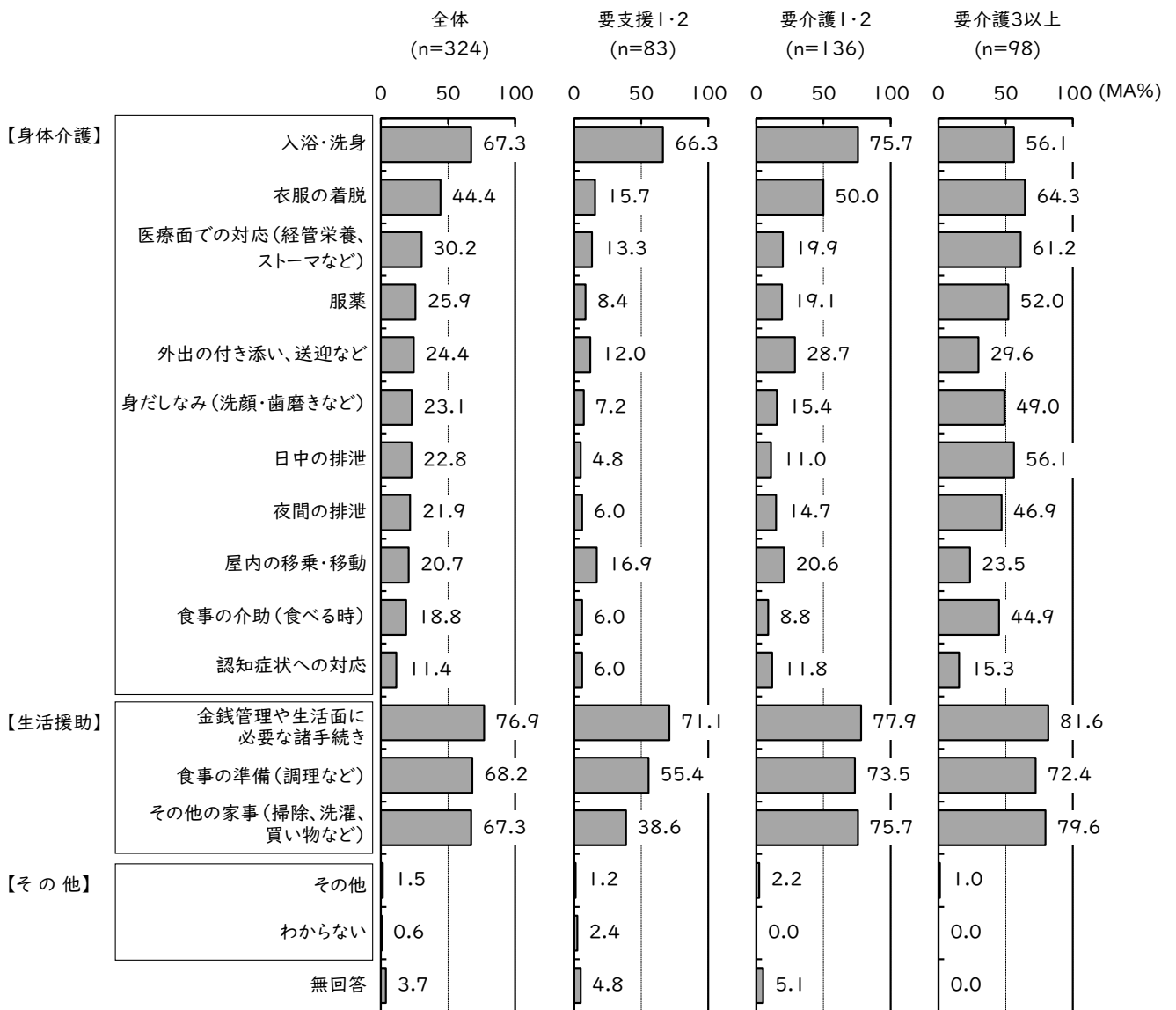
問 34. 現在、主な介護者の方が行っている介護などについて、ご回答ください。(○はい/×でも)

《全体》では、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が 76.9%と最も高く、次いで、「食事の準備（調理など）」が 68.2%、「入浴・洗身」、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物など）」がそれぞれ 67.3%、「衣服の着脱」が 44.4%、「医療面での対応（経管栄養、ストーマなど）」が 30.2%となっています。

要介護度別でみると、どの区分も【生活援助】に関する項目の割合が高い傾向にあり、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が最も高くなっています（要支援 1・2：71.1%、要介護 1・2：77.9%、要介護 3以上：81.6%）。

【身体介護】に関する項目については、《要支援 1・2》、《要介護 1・2》では「入浴・洗身」が最も高く（要支援 1・2：66.3%、要介護 1・2：75.7%）、《要介護 3以上》では「衣服の着脱」が最も高くなっています（64.3%）。

【要介護度別】

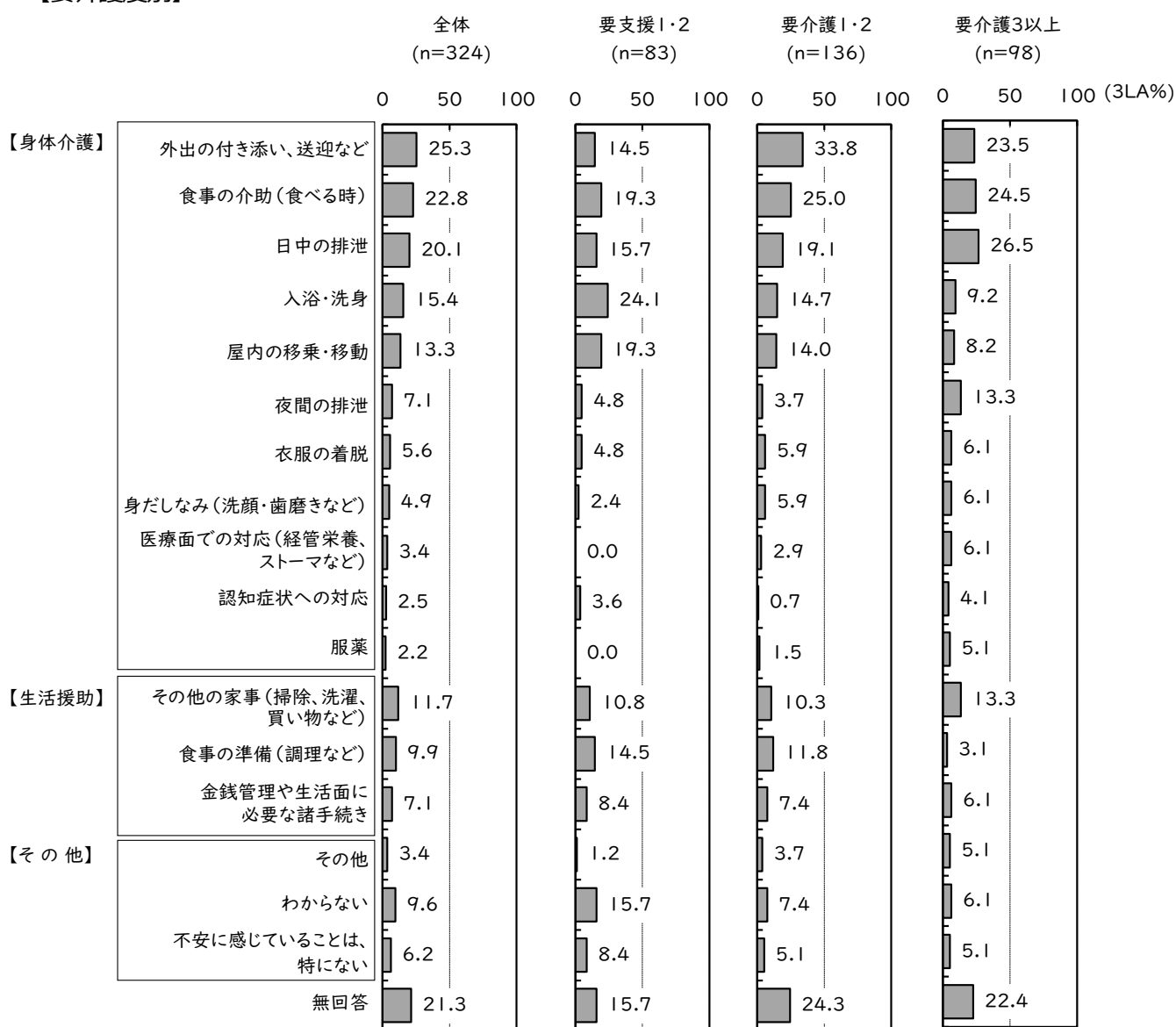


問35. 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安を感じる介護などについて、ご回答ください  
(現状で行っているか否かは問いません)。(〇は3つまで)

《全体》では、「外出の付き添い、送迎など」が 25.3%と最も高く、次いで、「食事の介助（食べる時）」が 22.8%、「日中の排泄」が 20.1%、「入浴・洗身」が 15.4%、「屋内の移乗・移動」が 13.3%となっています。

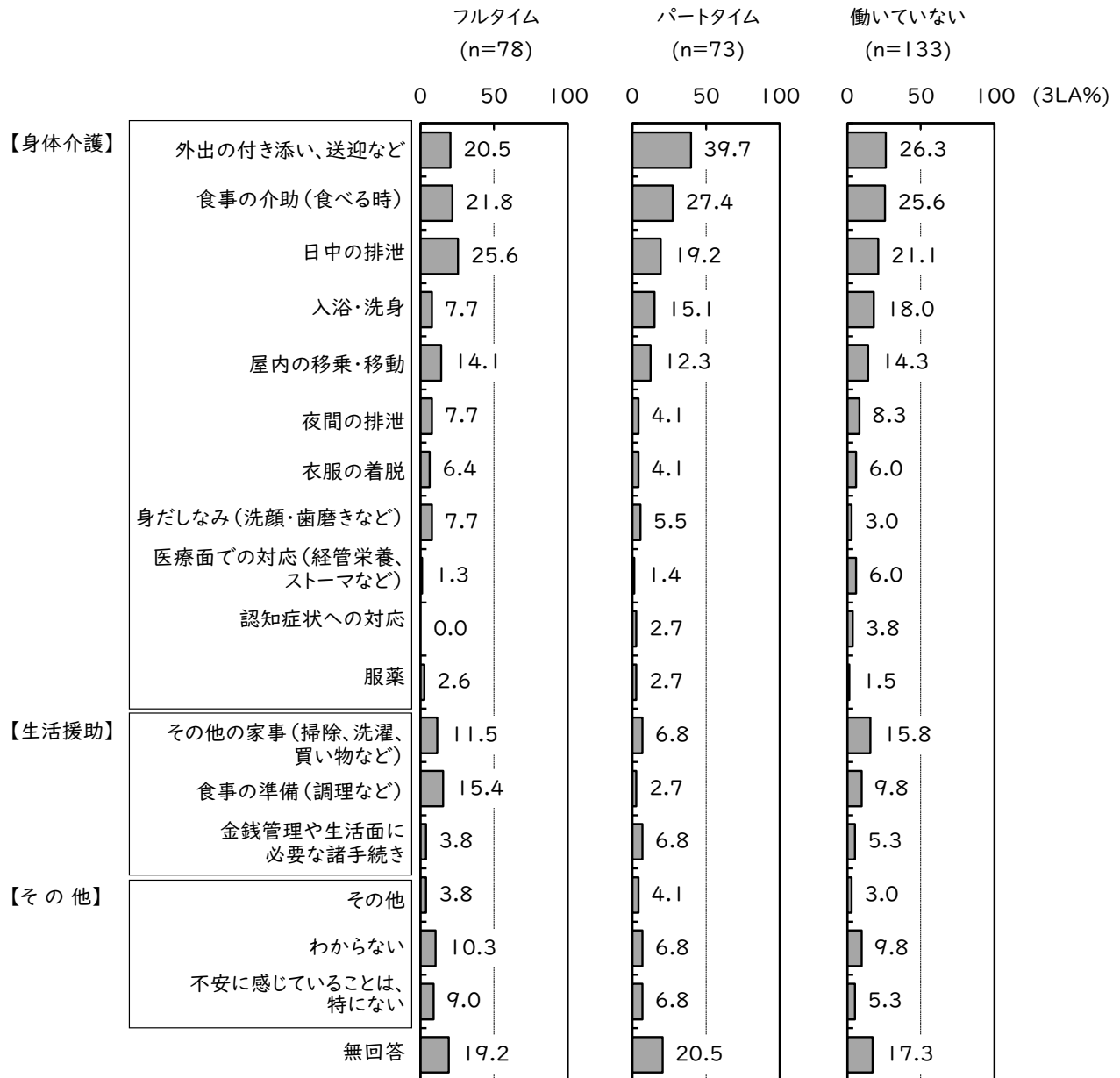
要介護度別でみると、《要支援 1・2》では「入浴・洗身」(24.1%) や「食事の介助（食べる時）」、「屋内の移乗・移動」(それぞれ19.3%)、《要介護1・2》、《要介護3以上》では、「外出の付き添い、送迎など」(要介護1・2：33.8%、要介護3以上：23.5%) や「食事の介助（食べる時）」(要介護1・2：25.0%、要介護3以上：24.5%)、「日中の排泄」(要介護1・2：19.1%、要介護3以上：26.5%) の割合が上位となっています。

【要介護度別】



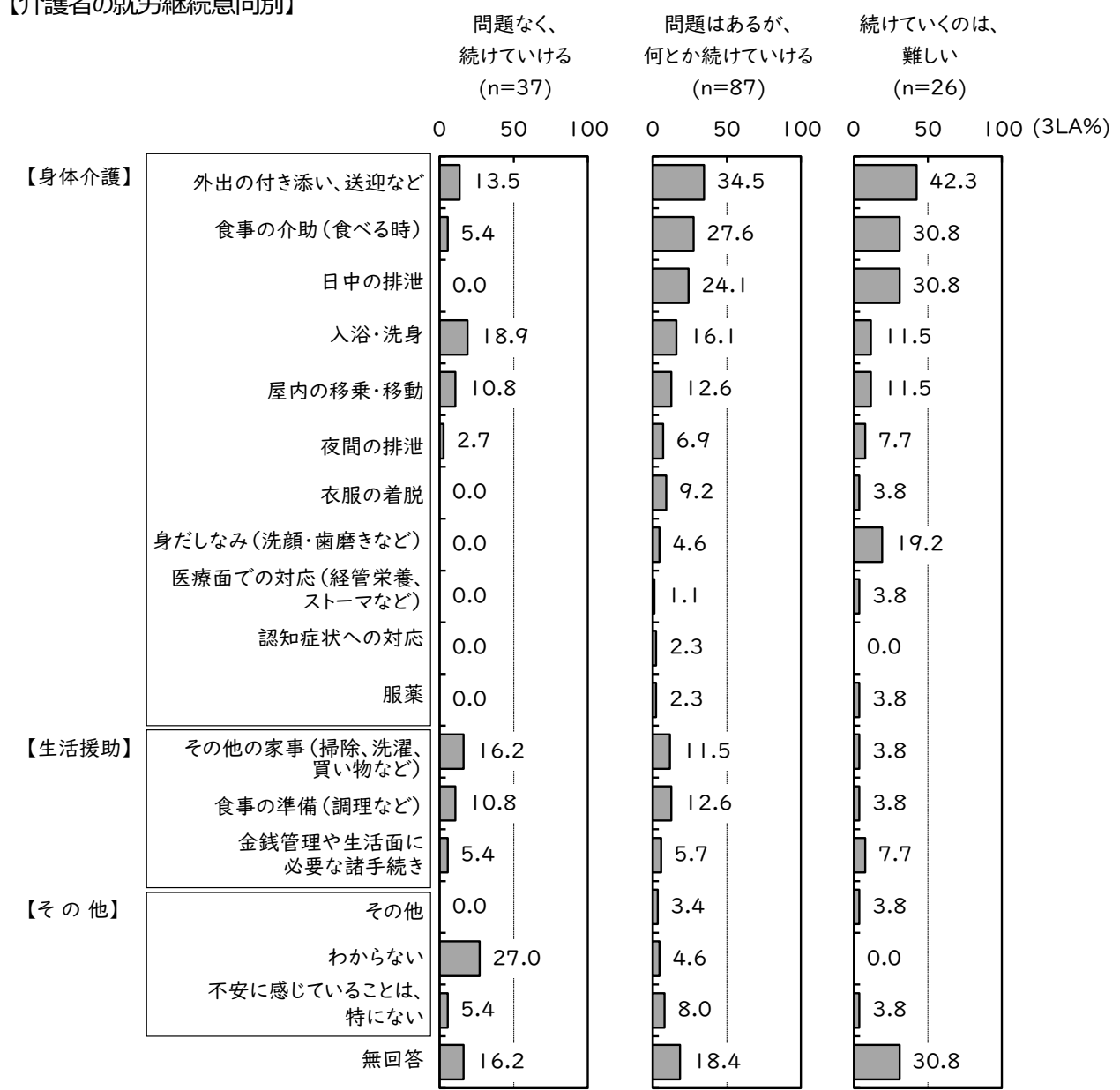
介護者の就労状況別でみると、どの区分も「外出の付き添い、送迎など」（フルタイム：20.5%、パートタイム：39.7%、働いていない：26.3%）、「食事の介助（食べる時）」（フルタイム：21.8%、パートタイム：27.4%、働いていない：25.6%）、「日中の排泄」（フルタイム：25.6%、パートタイム：19.2%、働いていない：21.1%）が上位となっていますが、《フルタイム》では「日中の排泄」が最も高く、《パートタイム》、《働いていない》では「外出の付き添い、送迎など」が最も高くなっています。

【介護者の就労状況別】



介護者の就労継続意向別でみると、《問題なく、続けていける》では「わからない」を除くと、「入浴・洗身」が最も高く、18.9%となっています。《問題はあるが、何とか続けていける》、《続けていくのは、難しい》では「外出の付き添い、送迎など」（問題はあるが、何とか続けていける：34.5%、続けていくのは、難しい：42.3%）、「食事の介助（食べる時）」（問題はあるが、何とか続けていける：27.6%、続けていくのは、難しい：30.8%）、「日中の排泄」（問題はあるが、何とか続けていける：24.1%、続けていくのは、難しい：30.8%）が上位3位となっています。

【介護者の就労継続意向別】

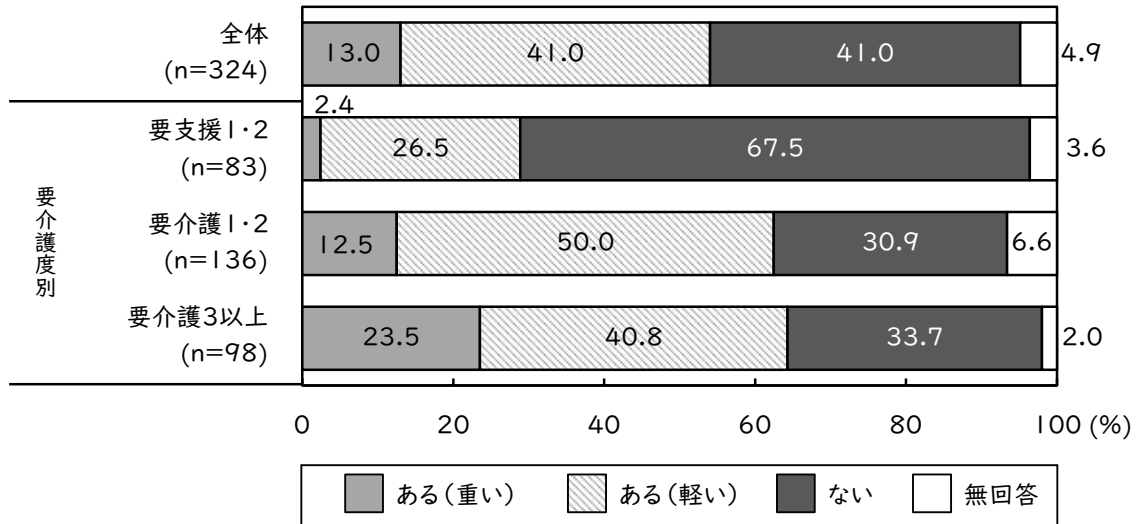




問 36. あて名の方には認知症の症状がありますか。(○は1つだけ)

《全体》では、「ある（重い）」が 13.0%、「ある（軽い）」が 41.0%、「ない」が 41.0%となっており、『ある』（「ある（重い）」+「ある（軽い）」）については 54.0%となっています。

要介護度別でみると、『ある』の割合は要介護度が上がるほど高くなり、《要支援1・2》では 28.9%、《要介護1・2》では 62.5%、《要介護3以上》では 64.3%と、特に《要支援1・2》から《要介護1・2》にかけての増加が大きくなっています。

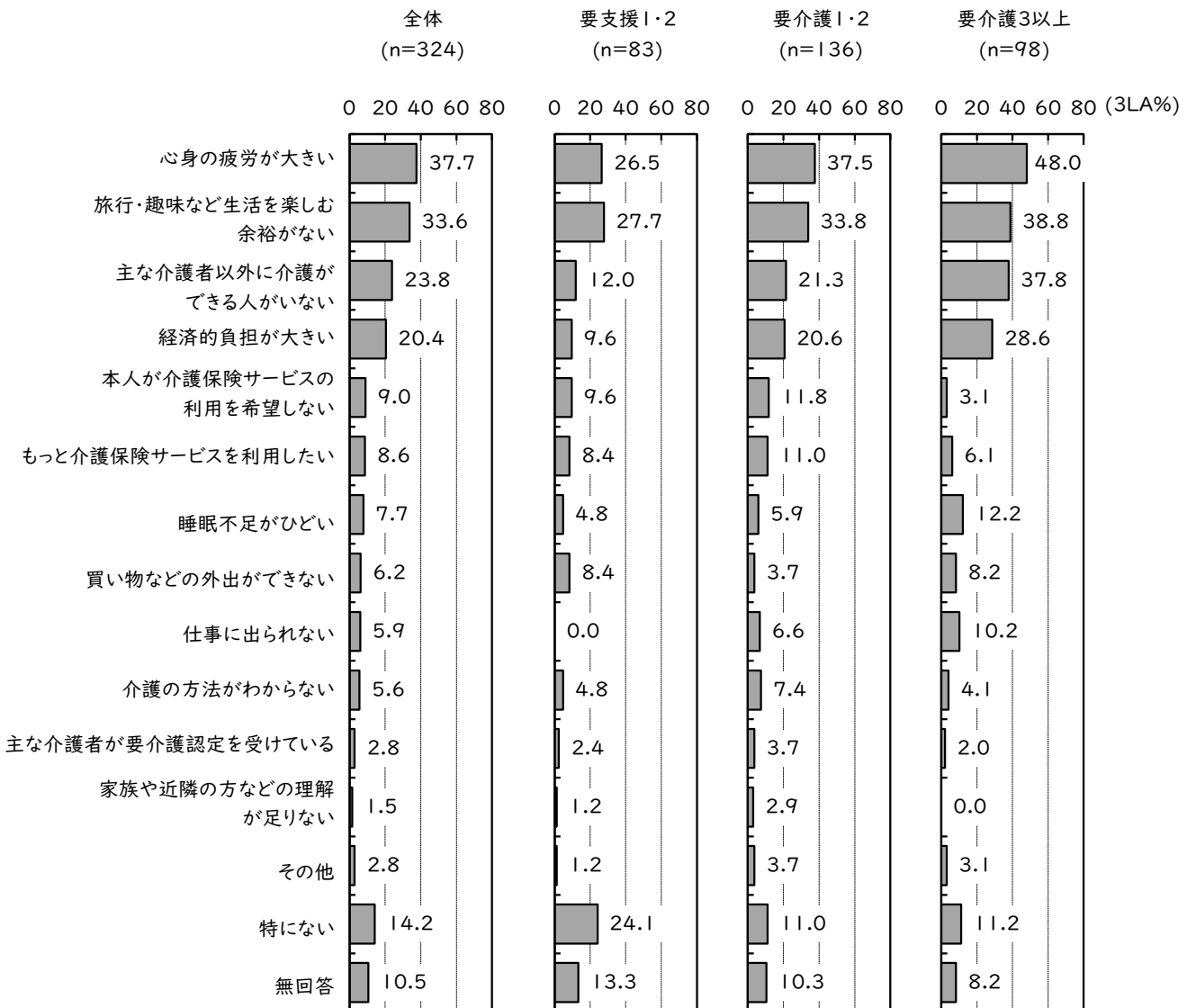


問 37. 介護するうえで、どんなことに困っていますか。(○は3つまで)

《全体》では、「心身の疲労が大きい」が 37.7%と最も高く、次いで、「旅行・趣味など生活を楽しむ余裕がない」が 33.6%、「主な介護者以外に介護ができる人がいない」が 23.8%、「経済的負担が大きい」が 20.4%となっています。

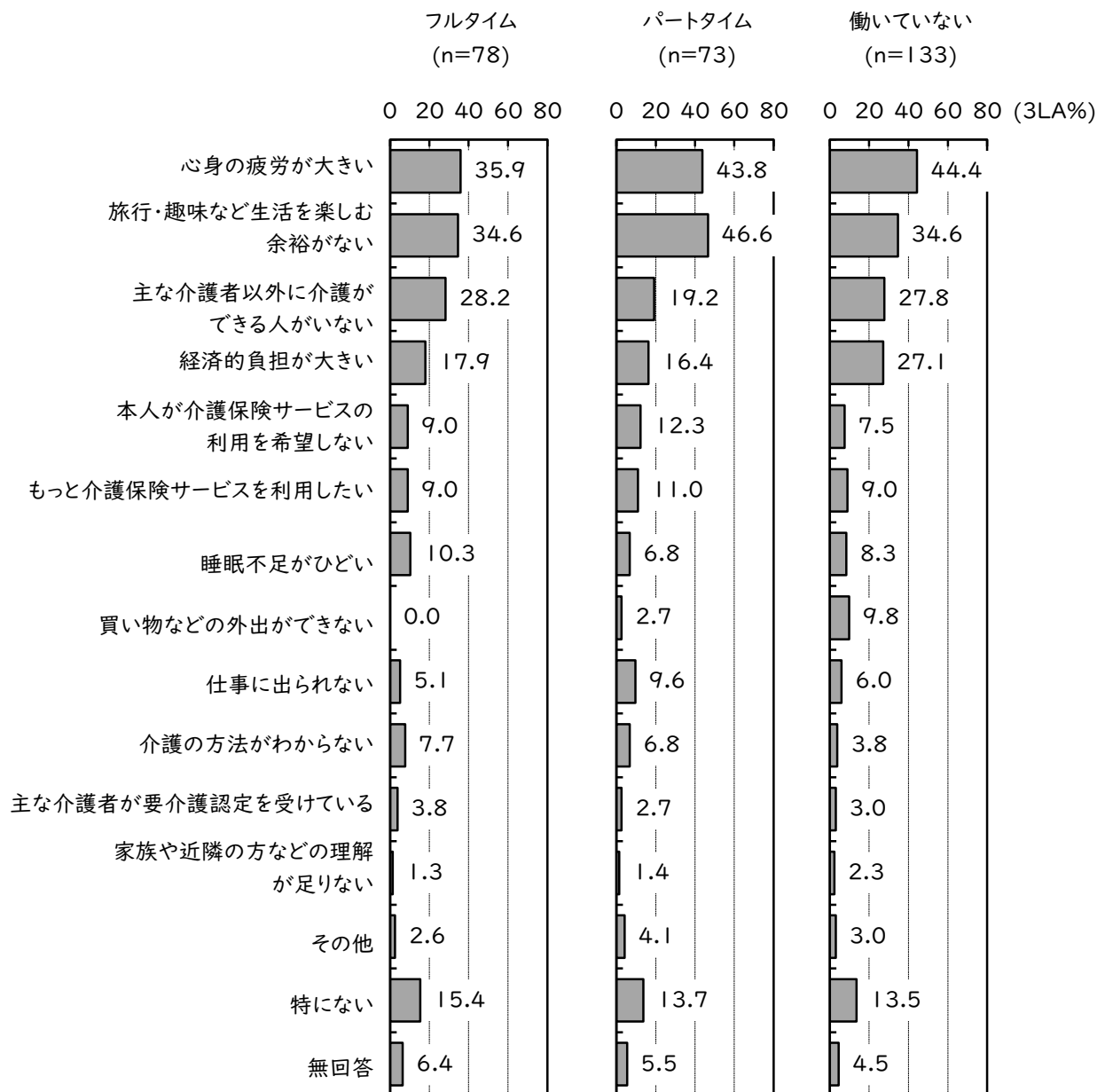
要介護度別でみると、どの区分も「心身の疲労が大きい」(要支援 1・2 : 26.5%、要介護 1・2 : 37.5%、要介護 3 以上 : 48.0%)、「旅行・趣味など生活を楽しむ余裕がない」(要支援 1・2 : 27.7%、要介護 1・2 : 33.8%、要介護 3 以上 : 38.8%)、「主な介護者以外に介護ができる人がいない」(要支援 1・2 : 12.0%、要介護 1・2 : 21.3%、要介護 3 以上 : 37.8%) が上位 3 位となっていますが、《要支援 1・2》では「旅行・趣味など生活を楽しむ余裕がない」が最も高く、《要介護 1・2》、《要介護 3 以上》では「心身の疲労が大きい」が最も高くなっています。また、要介護度が上がるほどおおむね割合が高くなる傾向にあります。

【要介護度別】



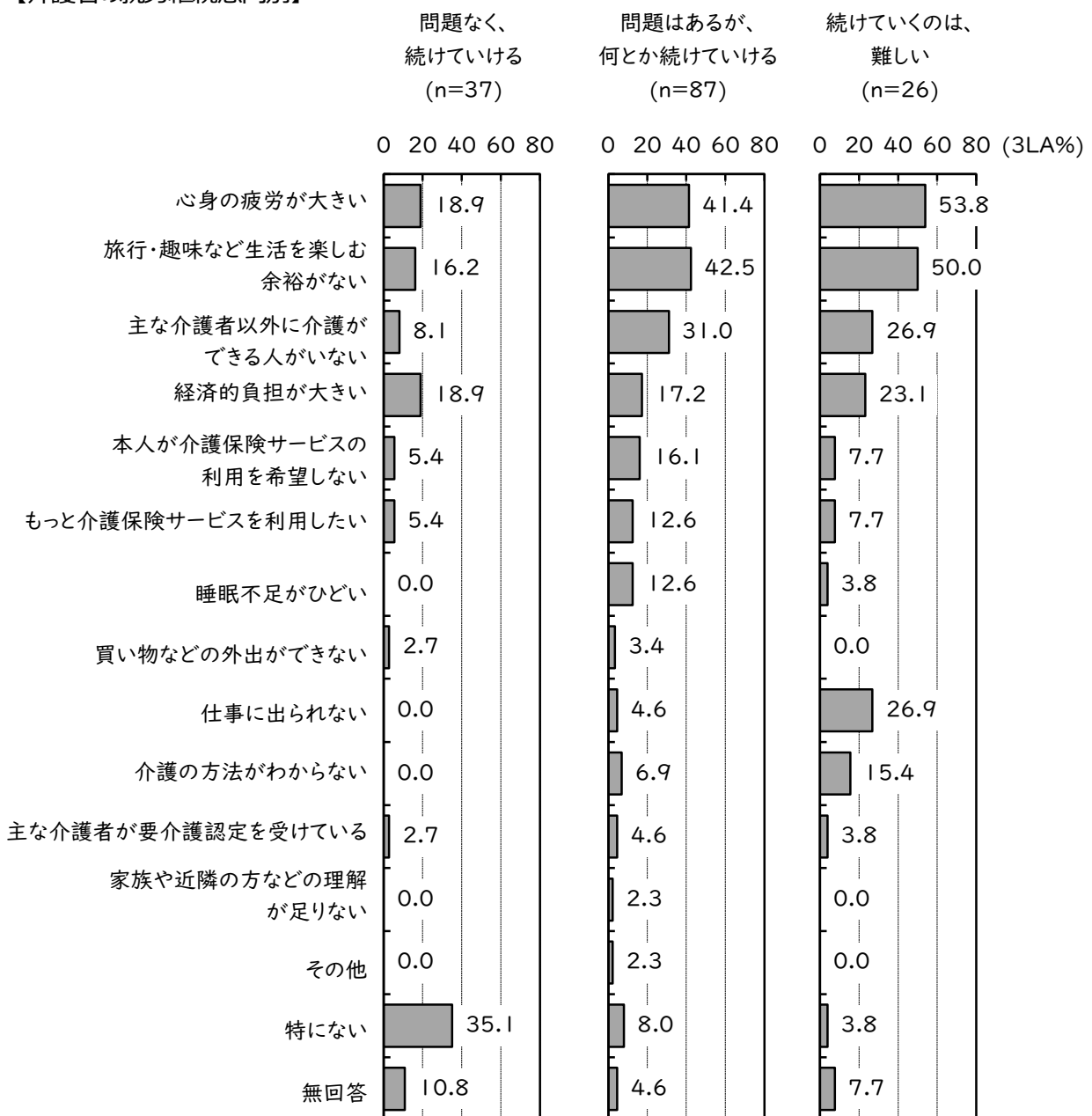
介護者の就労形態別でみると、どの区分も「心身の疲労が大きい」（フルタイム：35.9%、パートタイム：43.8%、働いていない：44.4%）、「旅行・趣味など生活を楽しむ余裕がない」（フルタイム：34.6%、パートタイム：46.6%、働いていない：34.6%）、「主な介護者以外に介護ができる人がいない」（フルタイム：28.2%、パートタイム：19.2%、働いていない：27.8%）が上位3位となっていますが、《フルタイム》、《働いていない》では「心身の疲労が大きい」が最も高く、《パートタイム》では「旅行・趣味など生活を楽しむ余裕がない」が最も高くなっています。《働いていない》では「経済的負担が大きい」の割合も比較的高く、他の区分の割合を大きく上回っています。

【介護者の就労状況別】



介護者の就労継続意向別でみると、《問題なく、続けていける》では「特にない」が 35.1%と最も高く、それ以外は 20%未満となっています。《問題はあるが、何とか続けていける》、《続けていくのは、難しい》では、「心身の疲労が大きい」（問題はあるが、何とか続けていける：41.4%、続けていくのは、難しい：53.8%）、「旅行・趣味など生活を楽しむ余裕がない」（問題はあるが、何とか続けていける：42.5%、続けていくのは、難しい：50.0%）、「主な介護者以外に介護ができる人がいない」（問題はあるが、何とか続けていける：31.0%、続けていくのは、難しい：26.9%）が上位3位となっていますが、《問題はあるが、何とか続けていける》では「旅行・趣味など生活を楽しむ余裕がない」が最も高く、《続けていくのは、難しい》では「心身の疲労が大きい」が最も高くなっています。

【介護者の就労継続意向別】

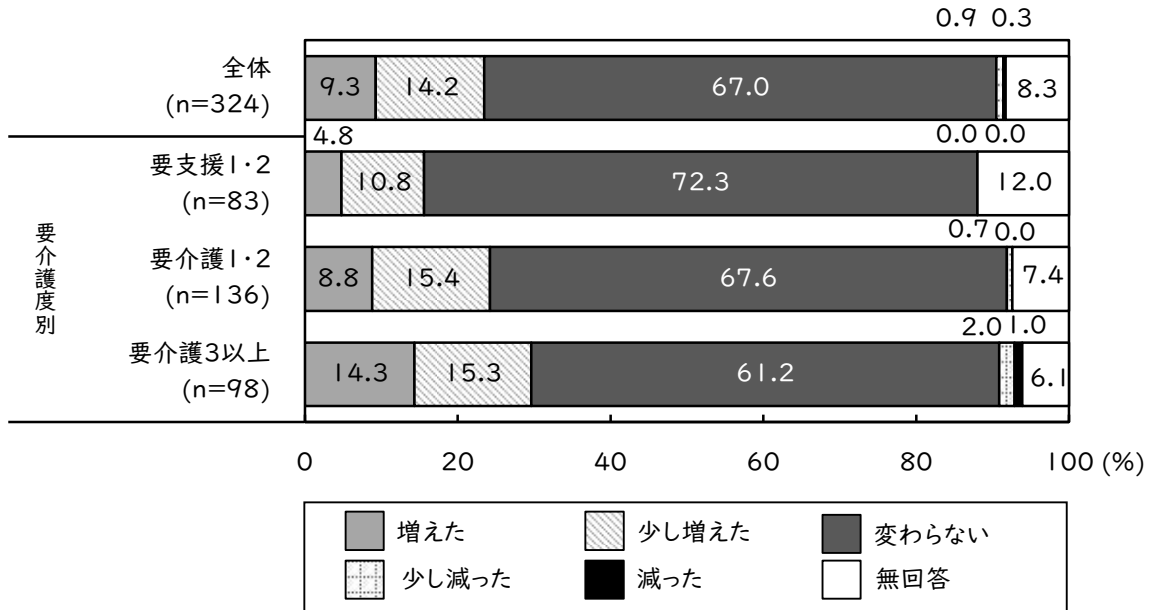


問 38. 新型コロナウイルス感染拡大の影響により介護の負担に変化はありましたか。(○は1つだけ)

①介護の時間

《全体》では、「変わらない」が67.0%と最も高く、次いで、「少し増えた」が14.2%、「増えた」が9.3%となっています。『増えた』（「増えた」+「少し増えた」）の割合については23.5%となっています。

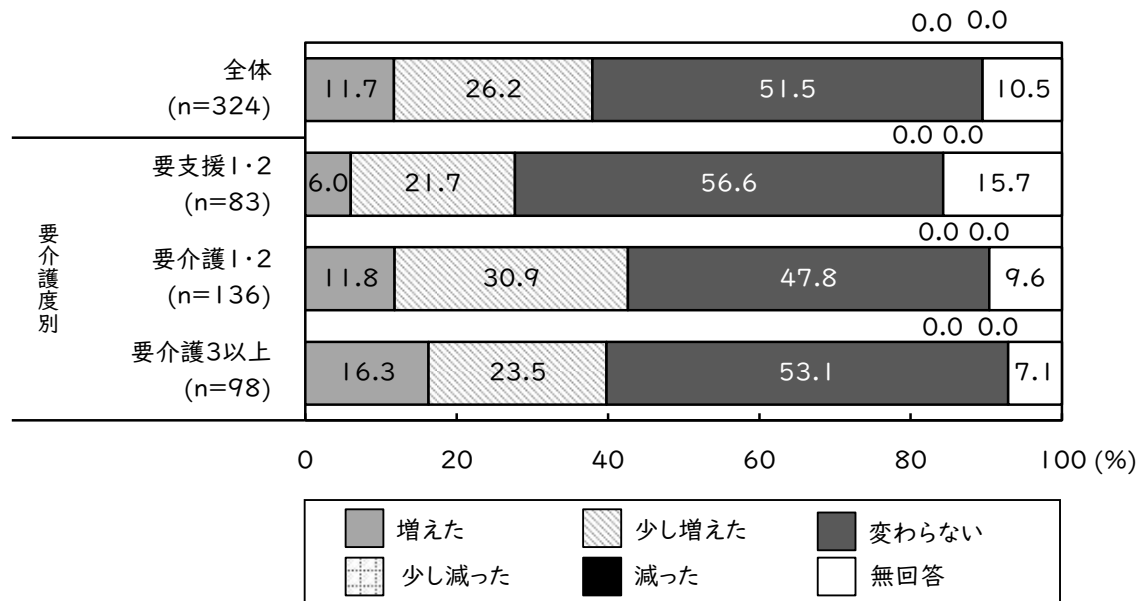
要介護度別でみると、『増えた』の割合は要介護度が上がるほど高くなり、《要支援1・2》では15.6%、《要介護1・2》では24.2%、《要介護3以上》では29.6%と、特に《要支援1・2》から《要介護1・2》にかけての増加が大きくなっています



②精神的負担

《全体》では、「変わらない」が51.5%と最も高く、次いで、「少し増えた」が26.2%、「増えた」が11.7%となっています。『増えた』（「増えた」+「少し増えた」）の割合については37.9%となっています。

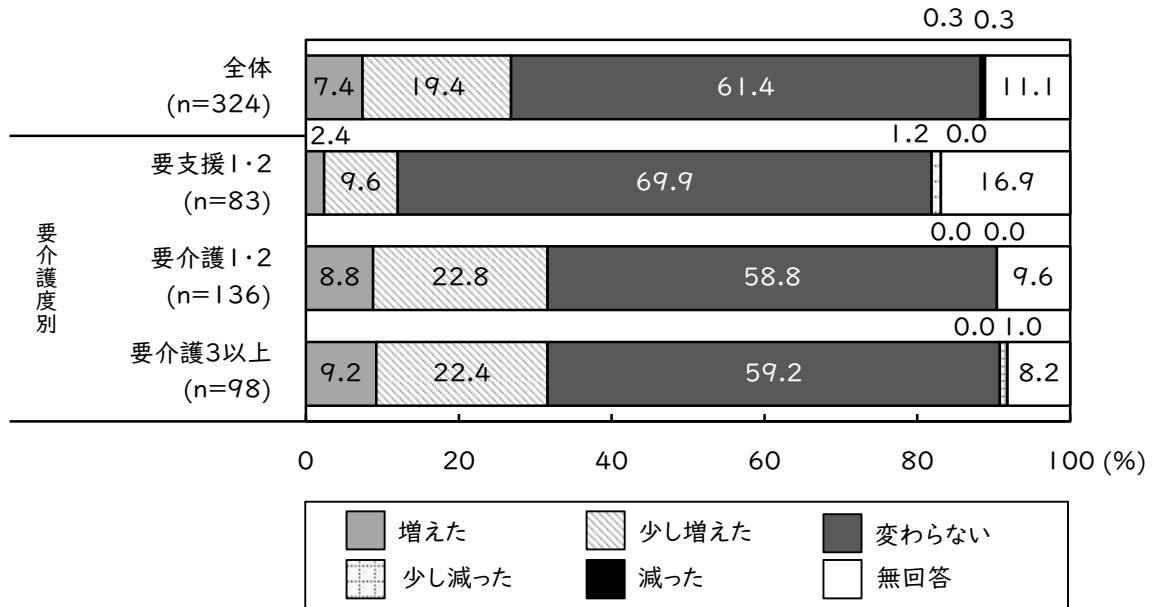
要介護度別でみると、『増えた』の割合は、《要支援1・2》では27.7%、《要介護1・2》では42.7%、《要介護3以上》では39.8%と、《要介護1・2》での割合が最も高くなっています。



### ③経済的負担

《全体》では、「変わらない」が61.4%と最も高く、次いで、「少し増えた」が19.4%、「増えた」が7.4%となっています。『増えた』（「増えた」+「少し増えた」）の割合については26.8%となっています。

要介護度別でみると、『増えた』の割合は要介護度が上がるほど高くなり、《要支援1・2》では12.0%、《要介護1・2》では31.6%、《要介護3以上》では31.6%と、特に《要支援1・2》から《要介護1・2》にかけての増加が大きくなっています

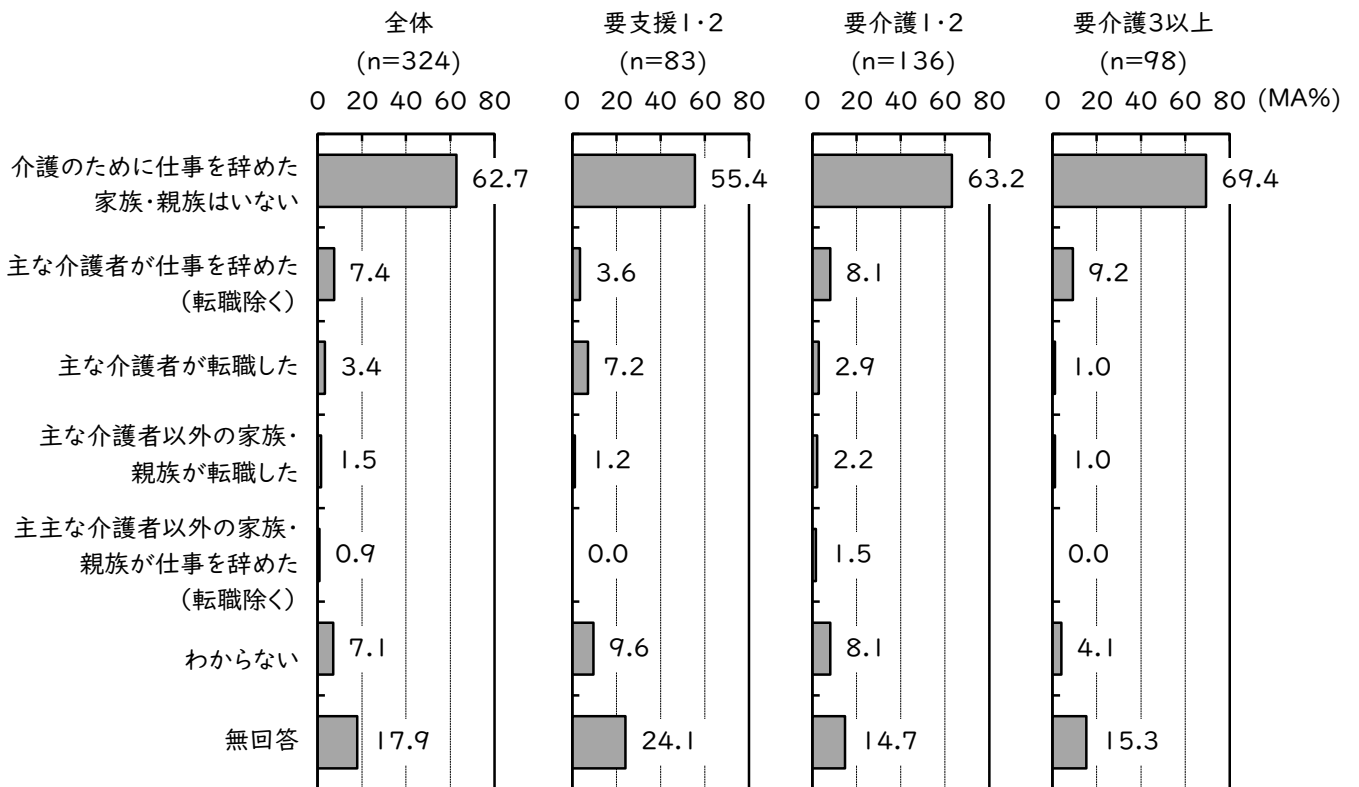


問39. ご家族やご親族の中で、あて名の方の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか。現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません。(〇はいくつでも)  
 ※自営業や農業などの仕事を辞めた方も含みます。

《全体》では、「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が62.7%と最も高く、次いで、「主な介護者が仕事を辞めた(転職除く)」が7.4%となっています。

要介護度別でみると、どの区分も「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が最も高くなっていますが、《要支援1・2》では55.4%、《要介護1・2》では63.2%、《要介護3以上》では69.4%と、要介護度が上がるほど割合が高くなっています。「主な介護者が仕事を辞めた(転職除く)」の割合についても少数ながら、同様の傾向にあり、《要支援1・2》では3.6%、《要介護1・2》では8.1%、《要介護3以上》では9.2%となっています。

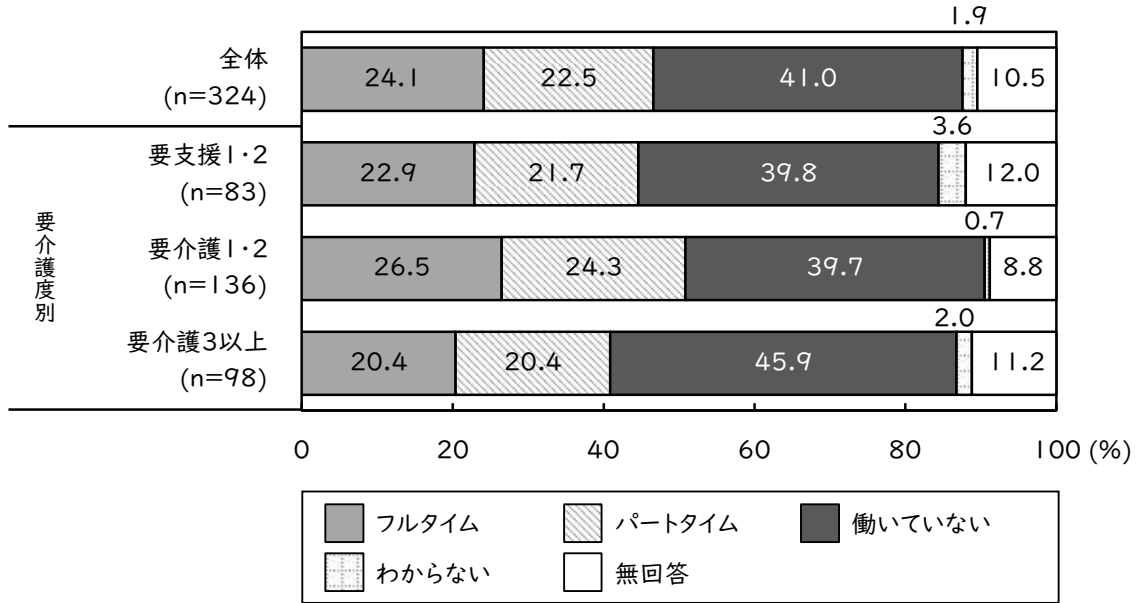
【要介護度別】



問 40. 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください。(○は1つだけ)

《全体》では、「働いていない」が41.0%と最も高く、次いで、「フルタイム」が24.1%、「パートタイム」が22.5%となっており、『働いている』（「フルタイム」+「パートタイム」）は46.6%となっています。

要介護度別でみると、『働いている』の割合は、《要支援1・2》では44.6%、《要介護1・2》では50.8%、《要介護3以上》では40.8%と、《要介護1・2》での割合が最も高くなっています。一方、「働いていない」の割合は《要介護3以上》で最も高く、45.9%となっています。



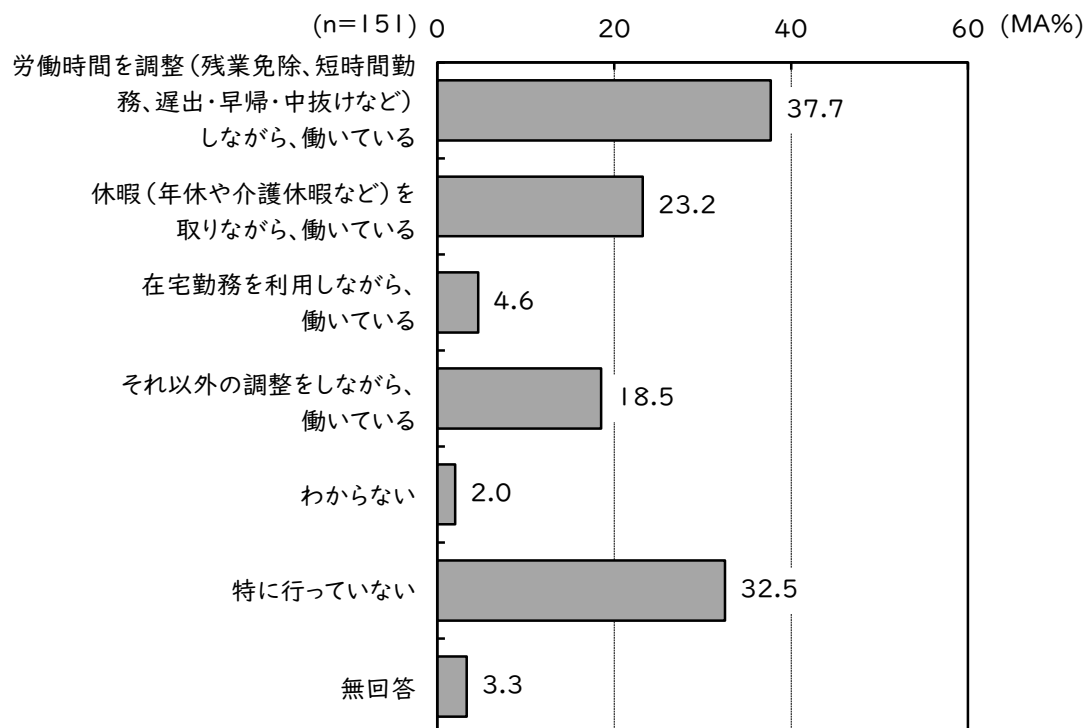


〈働いている方のみ〉

問 41. 主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整などを行っていますか。

(○はい/△は多少/□はいいえ)

《全体》では、「特に行っていない」を除くと、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜けなど）しながら、働いている」が 37.7%と最も高く、次いで、「休暇（年休や介護休暇など）を取りながら、働いている」が 23.2%となっています。「特に行っていない」については 32.5%となっています。

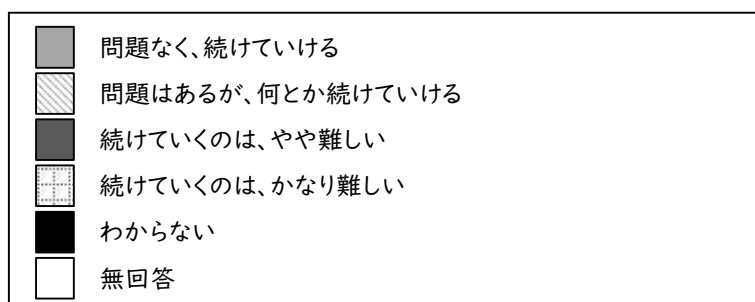
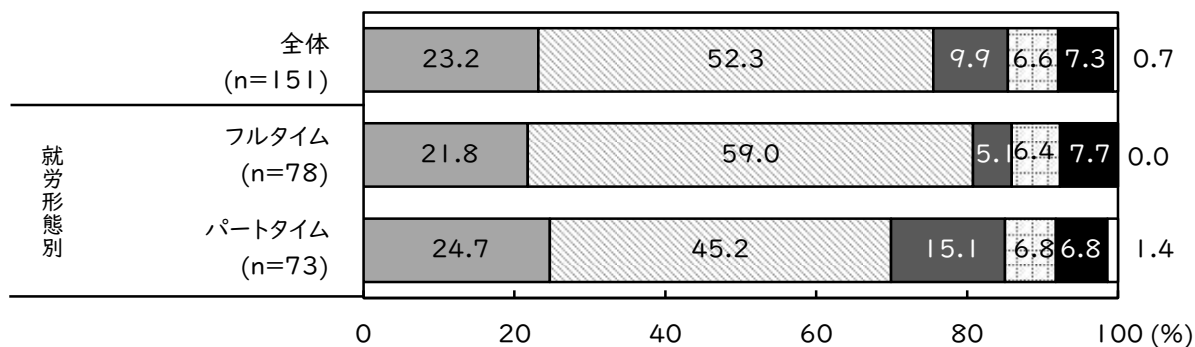


〈働いている方のみ〉

問 42. 主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか。(○は1つだけ)

《全体》では、「問題はあるが、何とか続けていける」が 52.3%と最も高く、次いで、「問題なく、続けていける」が 23.2%、「続けていくのは、やや難しい」が 9.9%となっており、『続けていくのは難しい』（「続けていくのは、やや難しい」+「続けていくのは、かなり難しい」）については、16.5%となっています。

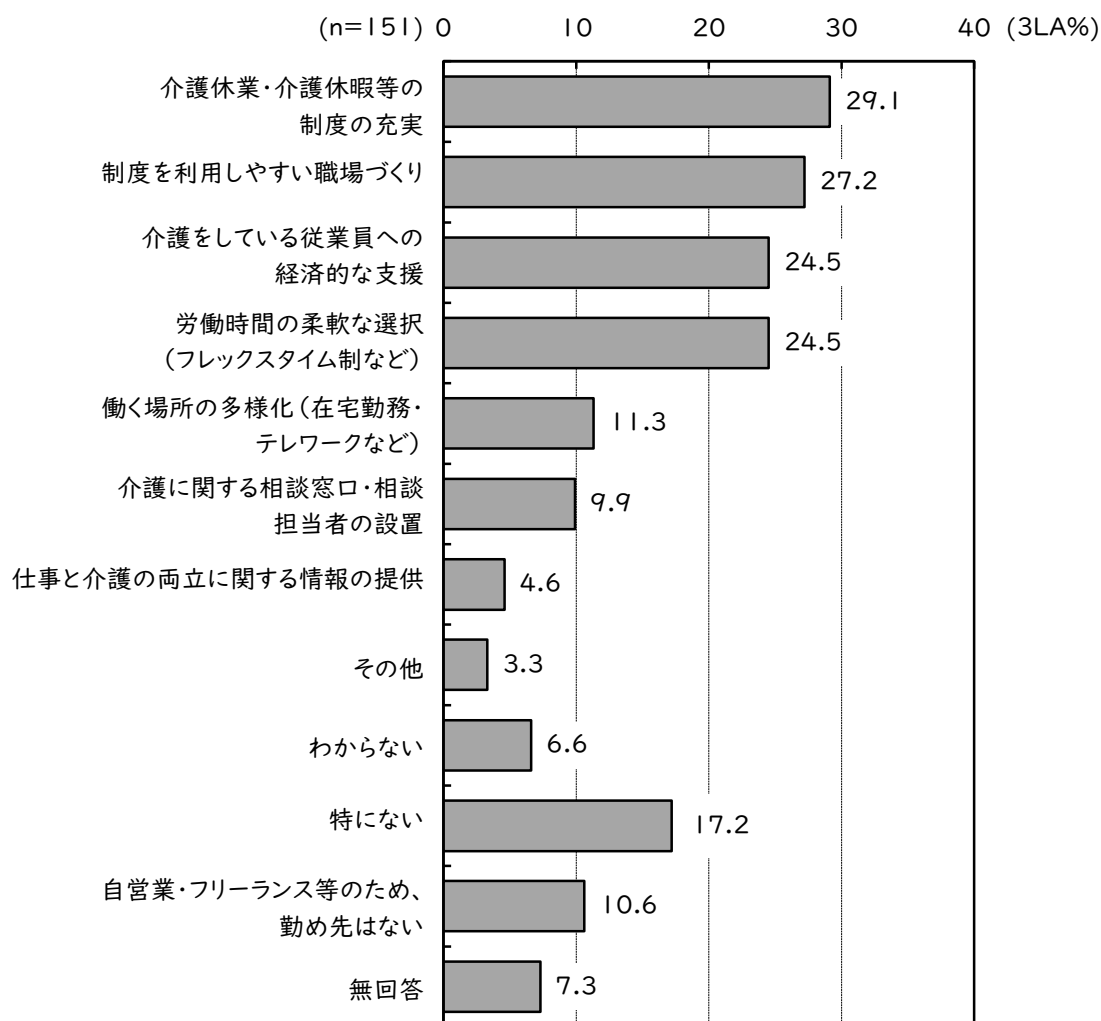
介護者の就労形態別でみると、『続けていくのは難しい』の割合は、《フルタイム》では 11.5%、《パートタイム》では 21.9%となっています。



〈働いている方のみ〉

問 43. 主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか  
(○は3つまで)

「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が 29.1%と最も高く、次いで、「制度を利用しやすい職場づくり」が 27.2%、「介護をしている従業員への経済的な支援」、「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」がそれぞれ 24.5%となっています。





---

一宮市 在宅介護アンケート  
～第9期一宮市高齢者福祉計画の策定に向けて～  
【調査結果報告書】

発行年月 : 令和5年3月

発行・編集 : 一宮市福祉部介護保険課

〒491-8501 愛知県一宮市本町2丁目5番6号

TEL : (0586) 28-9018

FAX : (0586) 73-1019

E-mail : kaigohoken@city.ichinomiya.lg.jp

---